

社会（歴史的分野）

東京書籍
教育出版
帝国書院
山川出版社
日本文教出版
自由社
育鵬社
学び舎
令和書籍

採択基準	基本観点	発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
	別表2			を示している。						
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示している。 各章に探究課題、各節に探究のステップ、各見開きに学習課題を構造化して設定し、単元を見通して思考・判断・表現する活動ができるようにしている。 各章末では、年表や地図などを用いて節・章の課題をまとめたり、思考ツールを使ってまとめの活動を行ったりするなど、思考力・判断力・表現力などの育成を図ろうとしている。	各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示している。 各見開きに学習内容を確認する課題と表現する課題とを段階的に設定している。 各節ごとに、重要ポイントを捉える課題を設定している。 各章末には、時代を大観する年表や地図を示し、各時代の特色をつかむ学習活動を行い、思考力・判断力・表現力などの育成を図ろうとしている。	章の問い、節の問い、見開きの学習課題を構造化して設定し、単元を見通して思考・判断・表現する活動ができるようにしている。 各章末では、年表や資料を用いて各時代のようなすを整理・取得させ、例示された言語活動を通して、思考力・判断力・表現力などの育成を図ろうとしている。	各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示している。 各見開きに導入の問いとまとめの課題を示している。 各章末では、政治・経済や世界とのつながり、変化についてまとめ、振り返る課題を示し、思考力・判断力・表現力などの育成を図ろうとしている。	各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示している。 各見開きに学習課題とそれを考察するための見方・考え方を示し、確認後に見方・考え方を働かせるための深める問いを設定している。 各単元の始めに各時代を大観する資料などから視点を示し、時代の転換や特色を示し、思考力・判断力・表現力などの育成を図ろうとしている。	各種資料を効果的に配置し、考察に役立つよう配慮している。 各見開きに学習課題を設定し、最後に確認する問いを示している。 各章末には、資料を用いて各時代を大観し、その時代について表現する課題に取り組みせることで、思考力・判断力・表現力などの育成を図ろうとしている。	各種資料を効果的に配置し、考察に役立つよう配慮している。 各見開きに学習課題を設定し、最後に確認する問いを示している。 各単元末には、年表や資料を用いて各時代を大観し、その時代について表現する課題や、価値判断を必要とする問いに取り組みせることで、思考力・判断力・表現力などの育成を図ろうとしている。	各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示している。 各見開きに各種資料を配置し、考察に役立つよう配慮している。 各単元の学習のまとめでは、資料や図表を活用して各時代の特色や転換について捉えさせ、グループで課題に取り組み、最後に自分でまとめる活動を設定し、思考力・判断力・表現力などの育成を図ろうとしている。	各種資料を効果的に配置し、考察を深めるための視点を示している。 各見開きに各種資料を配置し、考察に役立つよう配慮している。 各章の項目ごとに課題が設定されており、問いの解決に向けての学習となるよう工夫されている。 各単元のまとめ学習では、時代ごとの特色を捉えるための表にまとめ、自分の言葉で時代ごとの特色をまとめる活動や年表を示して各時代を大観することで、思考力・判断力・表現力などの育成を図ろうとしている。
	別表3									
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	生徒の興味・関心を高めるために、各所にコラムを配し、章末には学習を深める自主学習・自由研究を設定している。 また、章末には書き込みなどの作業的ページもあり、自ら学習できるよう工夫している。	生徒の興味・関心を高めるために、「歴史の窓」が配置され、テーマを分けて学習を深める自主学習・自由研究を設定している。 また、章末には書き込みなどの作業的ページもあり、自ら学習できるよう工夫している。	生徒の興味・関心を高めるために、「未来に向けて」など多くのコラムを配している。 部末には学習を深める自主学習・自由研究を設定している。 また、書き込みなどの作業的ページもあり、自ら学習できるよう工夫している。	生徒の興味・関心を高めるために、多くのコラムが各年代にバランスよく配置されている。 生徒の興味・関心を高めるために、複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験できるように「チャレンジ歴史」が配置されている。	生徒の興味・関心を高めるために、多くのコラムが各年代に配置されている。 章末には学習を振り返る自主学習と調べ学習のページを設定し、自ら学習できるよう工夫している。	生徒の興味・関心を高めるために、多くのコラムが各年代に配置されている。 生徒の興味・関心を高めるために、各所に「歴史ビュー」が配置されている。	生徒の興味・関心を高めるために、ほぼ毎時間（90時間分）にコラムを配している。 章末には学習を振り返る自主学習と自由研究を設定し、自ら学習できるよう工夫している。	生徒の興味・関心を高めるために、多くのコラムが各年代に配置されている。 章末には「まとめ学習」として、時代ごとの特色を捉えるための自主学習ページを設定し、自ら学習できるよう工夫している。	生徒の興味・関心を高めるために、多くのコラムが各年代に配置されている。 章末には「まとめ学習」として、時代ごとの特色を捉えるための自主学習ページを設定し、自ら学習できるよう工夫している。
	別表4									

採択基準	基本観点	発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
		載している。 史料や注記の掲載部分を文字の読み取りに支障のない地色を敷き区別することで紙面の構造を明確化している。 本文中の注記に加え、巻末に、五十音順に 118 項目の用語解説のコーナーを設け、関連するページを示して解説している。 デジタル教材は、15 種類の内容で 382 コンテンツ、各ページの見開き導入部の定位置に配置し、二次元コードでつながるようにしている。	小学校での既習事項は史料に「小学校」と明示して掲載している。 語句の内容により、一般的な注記と「解説」(20 項目)の 2 つに分けて掲載している。 デジタル教材は、3 種類の内容で 58 コンテンツ、各章の導入部にリンク、資料やコラムに動画、章末のまとめにクイズを配置し、二次元コードでつながるようにしている。	小学校の既習事項、地理・公民との関連事項をマークで明示して掲載している。 語句の内容により、一般的な注記を「解説」(51 項目)、人物の注記を「人物コラム」と 2 つに分けて掲載している。 デジタル教材は、11 種類の内容で 391 コンテンツ、各章の導入部、章末のまとめ、各節の導入部など随所に配置し、二次元コードでつながるようにしている。	重要な史料にマークを付し、背景色を変えて掲載している。 語句の内容により、一般的な注記と「用語解説」(101 項目)、「人物コラム」の 3 つに分けて掲載している。 デジタル教材は、35 コンテンツ、「くわしく見てみよう」「聴いてみよう」「読んでみよう」など、資料を活用して学習を深めるコンテンツを配置し、二次元コードでつながるようにしている。	重要な史料にマークを付し、背景色を変えて掲載している。 語句の内容により、一般的な注記と「基本用語」(32 項目)の 2 つに分けて掲載している。 デジタル教材は、12 種類の内容で 437 コンテンツ、各編や節の導入部やまとめに動画や小テストを配置したり各編、節の学習履歴を記録したりするコンテンツとして配置し、二次元コードでつながるようにしている。	歴史上の文書・文献が基になっている史料にマークを付し、背景色を変えて掲載している。 語句の内容により、一般的な注記と本文中の語句を再掲し、用語解説を兼ねている注記(12 項目)の 2 つに分けて掲載している。 教科書上の二次元コードでつながるようなデジタル教材は配置していない。	重要な史料にマークを付して掲載している。 語句の内容により、一般的な注記と文字の読み取りに支障のない地色を敷いた人物の注記の 2 つに分けて掲載している。用語解説は 2 語だが注記が充実し、重要用語の解説を兼ねている。 学習内容に関連する動画の閲覧や歴史、文化に関連する諸機関・団体のコンテンツからの情報収集ができるように各章の導入部（7 か所）に二次元コードを配置している。	版の大きさ（A 判）を生かし、一つ一つの写真や絵図を大きく掲載している。 重要語句や難解な語句にはページの両端に用語解説(142 項目)を掲載し説明している。 第 4 章のふりかえりと第 8 章のふりかえり学習でインターネットでの調べ学習について記載している。	ている。 巻末に各時代の日本が誇る美術、工芸作品をカラーで大きく提示している。 本文中に番号を付した語句を説明した一般的な注記と本文の内容を詳細に解説する注記（91 項目）の 2 つに分けて掲載している。 漫画「承久の乱」にリンクできるように二次元コードを配置している。
	別表 7									

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項
別表 1

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
単元別ページ数と構成比率（合計ページ数に占める各単元の割合）		◇歴史へのとびら（14 ページ） ◇古代までの日本（42 ページ） ◇中世の日本（34 ページ） ◇近世の日本（46 ページ） ◇開国と近代日本の歩み（58 ページ） ◇二度の世界大戦と日本（42 ページ） ◇現代の日本と私たち（30 ページ） 【歴史へのとびら】7.6% 【古代までの日本】15.8% 【中世の日本】12.8% 【近世の日本】16.7% 【開国と近代日本の歩み】21.1% 【二度の世界大戦と日本】15.2% 【現代の日本と私たち】11.6%	◇歴史のとらえ方・調べ方(17 ページ) ◇原始・古代の日本と世界(40 ページ) ◇中世の日本と世界(36 ページ) ◇近世の日本と世界(48 ページ) ◇日本の近代化と国際社会(62 ページ) ◇二度の世界大戦と日本(46 ページ) ◇現代の日本と世界(36 ページ) 【歴史のとらえ方・調べ方】6.1% 【原始・古代の日本と世界】14.0% 【中世の日本と世界】12.6% 【近世の日本と世界】16.8% 【日本の近代化と国際社会】21.8% 【二度の世界大戦と日本】16.1% 【現代の日本と世界】12.6%	◇歴史のとらえ方と調べ方(13 ページ) ◇古代国家の成立と東アジア（48 ページ） ◇武家政権の成長と東アジア（42 ページ） ◇武家政権の展開と世界の動き（56 ページ） ◇近代国家の歩みと国際社会（66 ページ） ◇二度の世界大戦と日本（48 ページ） ◇現在に続く日本と世界（32 ページ） 【歴史のとらえ方と調べ方】4.3% 【古代国家の成立と東アジア】15.7% 【武家政権の成長と東アジア】13.8% 【武家政権の展開と世界の動き】18.4% 【近代国家の歩みと国際社会】21.6% 【二度の世界大戦と日本】15.7% 【現在に続く日本と世界】10.5%	◇歴史との対話(9 ページ) ◇古代までの日本（48 ページ） ◇中世の日本（40 ページ） ◇近世の日本（52 ページ） ◇近代の日本と国際関係（58 ページ） ◇二つの世界大戦と日本（42 ページ） ◇現代の日本と世界（30 ページ） 【歴史との対話】3.2% 【古代までの日本】17.2% 【中世の日本】14.3% 【近世の日本】18.6% 【近代の日本と国際関係】20.8% 【二つの世界大戦と日本】15.1% 【現代の日本と世界】10.8%	◇私たちと歴史（12 ページ） ◇古代までの日本と世界（46 ページ） ◇中世の日本と世界（40 ページ） ◇近世の日本と世界（50 ページ） ◇近代の日本と世界日本の近代化（60 ページ） ◇近代の日本と世界二度の世界大戦と日本（44 ページ） ◇現代の日本と世界（42 ページ） 【私たちと歴史】4.1% 【古代までの日本と世界】15.6% 【中世の日本と世界】13.6% 【近世の日本と世界】17.0% 【近代の日本と世界日本の近代化】20.4% 【近代の日本と世界二度の世界大戦と日本】15.0% 【現代の日本と世界】14.3%	◇歴史のとらえ方（12 ページ） ◇古代までの日本（50 ページ） ◇中世の日本（36 ページ） ◇近世の日本（44 ページ） ◇近代日本の建設（62 ページ） ◇二つの世界大戦と日本（44 ページ） ◇現代の日本と世界（33 ページ） 【歴史のとらえ方】4.3% 【古代までの日本】17.8% 【中世の日本】12.8% 【近世の日本】15.7% 【近代日本の建設】22.0% 【二つの世界大戦と日本】15.7% 【現代の日本と世界】11.7%	◇序章（14 ページ） ◇原始と古代の日本（30 ページ） ◇中世の日本（32 ページ） ◇近世の日本（50 ページ） ◇近代の日本（58 ページ） ◇二度の世界大戦と日本（40 ページ） ◇現代の日本と世界（36 ページ） 【序章】5.3% 【原始と古代の日本】11.6% 【中世の日本】12.3% 【近世の日本】19.3% 【近代の日本】22.3% 【二度の世界大戦と日本】15.4% 【現代の日本と世界】13.8%	◇歴史への案内(6 ページ) ◇原始・古代（26 ページ） ◇中世（32 ページ） ◇近世（50 ページ） ◇近代（46 ページ） ◇二つの世界大戦（64 ページ） ◇現代（36 ページ） 【歴史への案内】2.3% 【原始・古代】10.0% 【中世】12.3% 【近世】19.2% 【近代】17.7% 【二つの世界大戦】24.6% 【現代】13.9%	◇国史を学ぶにあたって（7 ページ） ◇原始（36 ページ） ◇古代（66 ページ） ◇中世（64 ページ） ◇近世（86 ページ） ◇近代（140 ページ） ◇現代（49 ページ） 【国史を学ぶにあたって】1.6% 【原始】8.1% 【古代】14.7% 【中世】14.3% 【近世】19.2% 【近代】31.2% 【現代】10.9%
		全体の構成	単元の導入	各単元で小学校時に学習した内容を振り返り、学ぶ時期・年代を世紀の区切りを目印に写真や絵を用い、想像しやすく工夫している。また、単元を通して探究する問いを分かりやすく説明し、主体的に興味をもちやすくなる	各時代の様子が分かる資料を見やすく提示し、資料の読み解きを通じて、興味・関心を高める工夫がある。また、各単元の問いや前の単元との比較がしやすい構成で、「問い」を軸にした学習の見通しにつながる工夫がされて	各時代の政治や経済などの特徴的な場面をイラストで視覚的に示し、見通しや振り返りがしやすい構成になっているため、興味・関心をもって学習に取り組みやすい工夫がされている。	見開きの帯年表を用い、各時代の特色が分かる資料や写真を多く使用し、日本史と世界史を関連付けて、興味・関心もちやすい工夫がされている。	各時代の特徴的な写真や資料とともに、年表や地図を見やすく提示し、単元の見通しや問いの設定がしやすい工夫をしている。	半分のページでシンプルな構成になっており、各時代の特徴的な写真を掲載している。また、「登場人物紹介コーナー」として、小学校で学んだ人物を紹介することで各単元の見通しを持ちやすくする工夫がある。	「歴史絵巻」と題し、各章の冒頭にその章で学習する時代に起こった出来事や活躍した人物、文化や生活などのイラストを年代順に掲載している。小学校で学習した内容を振り返りながら、時代の流れを大観し、歴史学

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
		工夫がある。	いる。					習への興味・関心を高め、学習の見通しを持つことができる。	課題意識の育成を図っている。	
	1 時間の学習の流れ	1 時間の学習内容を見開きに収め、学習内容の「見通し→展開→振り返り」の流れを構造化できるよう工夫している。 1 時間ごとに学習課題を設定し、主体的に課題を解決するための「見通し」を持たせ、活動的に課題解決を行う工夫をしている。 探究のステップにより、主体的に思考を探究する活動につなげることができ、チェック、トライと題した振り返り課題を設定し、知識の習得と言語活動により学習が定着するようにしている。 二次元コードコンテンツの導入により、ICT 機器を用いた振り返りも取り組みやすくなっている。	1 時間の学習内容を見開きに収め、学習内容の「見通し→展開→振り返り」の流れを構造化することで、基礎・基本の習得ができるよう工夫されている。 豊富な資料により、学習内容についてイメージを伴ってより深く理解できるよう工夫している。 資料を読み解く視点を問いの形で示し、生徒自らが資料を活用できる力を育む工夫がされている。 1 時間のまとめとして「確認」と「表現」と題し、基礎・基本の確実な定着を支援している。	1 時間の学習内容は基本的に見開きに収められているが、文化史は 4 ページで構成している。興味・関心を引き出すため、冒頭に学習内容を象徴する資料を大きく掲載することで、基礎・基本の習得ができるよう工夫している。 1 時間ごとに学習課題を設定し、課題を解決するための豊富な資料や解説がある。 1 時間の学習の最後には「確認しよう」「説明しよう」と題した振り返り課題を設定し、知識の習得と思考力・判断力・表現力の育成を促す工夫をしている。	1 時間の学習内容を見開きに収め、「学習課題による見通し」→「豊富な質問による展開」→「ステップアップによる発展」の流れを構造化することで、基礎・基本の習得ができるよう工夫している。 高等学校につながる工夫として、史料やコラム、因果関係を重視した記述などで深い理解を促せるようにしている。	1 時間の学習内容を見開きに収め、「見通し→展開→振り返り」の流れを構造化することで、基礎・基本の習得ができるよう工夫している。 毎時間ごとに学習課題を設定し、見通しがもちやすく、最後に「確認」「表現」で 豊富な資料やコラムによって、興味・関心を引き立てる工夫をしている。	1 時間の学習内容を見開きに収め、学習内容の「見通し→展開→振り返り」の流れを構造化することで、基礎・基本の習得ができるよう工夫している。 写真や資料が豊富に掲載されており、興味・関心を引き出す工夫が見られる。 学習課題を「チャレンジ」としてまとめを考える工夫がある。	1 時間の学習内容を見開きに収め、学習内容の「見通し→展開→振り返り」の流れを構造化することで、基礎・基本の習得ができるよう工夫している。 写真や表、グラフ、図、コラムなどを豊富に掲載し、興味・関心を引き出す工夫がある。 学習課題で何を学ぶのかを明確に示して、ページの最後の「確認」と「探究」で学習内容の確実な定着を図る。	1 時間の学習内容を見開きに収め、興味・関心を引き出すため、冒頭に学習内容を象徴する資料を大きく鮮明に掲載することで基礎基本の習得ができるよう工夫している。 太字をなくし、主体的な学習につなげる工夫がある。 人物が多く掲載されており、指導的な人物以外の生活や社会的業績にも着目できる工夫がある。 タイトルにも興味・関心を引き出す工夫がある。	縦書きの文章中心の構成となっており、冒頭に「課題」を設け、1 時間の見通しがしやすくなっている。 1 時間の最後に「考えよう」を設け、振り返る工夫がある。 他社はあまり扱わない資料や写真が豊富に掲載されている。
	単元の学習内容の振り返り	知識、主体的に学習に取り組む態度、思考判断表現を「確かめよう」「ふり返ろう」「深めよう」の 3 構成で、単元の問いを軸にした課題解決的な学習によって、時代全体を大観できるようになっている。 様々な思考ツールやワークシートの活用により、探究活動をスムーズに行う工	「学習のまとめと表現」と題し、年表や地図にまとめる作業を通じて、基礎・基本の確実な定着を促す工夫がある。 また、自ら考察し、集団で表現し合う活動を位置付け、学習した過程を再確認できる工夫がある。	「学習を振り返ろう」と題した課題を設定し、「年表」と「地図」で学習した内容を整理・確認させる作業がある。 習得した知識を活用しながら、文章で時代の特徴を整理し、表現させることで時代を大観させる課題を設けている。	「まとめ」と題した課題を設定し、単元で学習した内容に関するいくつかの問いを設定し、整理、確認する作業がある。 習得した知識を活用しながら、文章で時代の特徴を整理し、表現させることで時代を大観させる課題を設けている。	「まとめとふり返り」と題し、年表や地図を活用しながら、単元で学習した知識を整理・定着させることができる。 それぞれの単元の問いの答えを考える活動や思考ツールを用いた活動もあり、自らの学びを自己調整することや、変容を感じる工夫がある。	4 つの項目で構成され、「調べ学習のページ」「復習問題のページ」「時代の象徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」に取り組むことで、単元を振り返りやすい工夫がされている。	「学習のまとめ」と題し、「年表」や「地図」で整理・確認する課題を設けている。 習得した知識を活用しながら、文章で時代の特徴を整理し、時代を大観し、表現する課題や活動を設けている。	「ふりかえる」では一問一答形式や年表を活用し、習得した基礎の知識を振り返りやすく工夫されている。 「学習のまとめ」では図や資料を活用し、自分の言葉で時代の特徴を表現し、時代を大観できる工夫がある。	「まとめ学習」と題し、時代ごとの特色を捉える思考ツールがある。 単元で学んだ時代を大観できる年表を用い、穴埋め形式で振り返る工夫がある。 「まとめ」では政治・文化・外交・産業と項目を分類し、それぞれのまとめがしやすい工夫がある。 巻末に「政権担当

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
		夫もある。								者・出来事対照表」があり、歴史の流れを把握することに活用できる工夫がある。
受け継がれてきた伝統や文化への関心を高めるための「身近な地域の歴史」の調査事例		＜地域の歴史を調べよう＞ ◇大陸への玄関口 福岡（P40～41） ◇藩の政治と産業 会津（P138～139） ◇幕末を生きた先人 たち 福井（P164～165） ◇明治維新のまちづくり 新潟（P182～183） ◇被爆建物の保存と継承 広島（P238～239）	◇身近な地域の歴史を調べよう（P12～18） ◇東北地方の歴史を調べよう（P54～55） ◇中世の要塞都市を歩こう（P90～91） ◇沖縄の歴史を調べよう（P176～177） ◇北海道の歴史を調べよう（P178～179） ◇建造物から時代の特色を考えよう（P224～225） ◇移り変わる戦後の街を訪ねて（P272～273）	◇東アジアに開かれた窓口 博多（P82～83） ◇琉球とアイヌ民族の暮らし（P132～133） ◇昆布ロードと北前船（P142～143） ◇世界有数の百万都市 江戸（P154～155） ◇世界に開かれた港 横浜（P192～193） ◇移住と開拓が進む 北海道（P198～199） ◇「絹の道」と日本の製糸業（P216～217） ◇発展する産業都市 大阪・神戸（P246～247） ◇長野県から見る満州移民（P260～261） ◇戦場となった沖縄（P268～269） ◇日本の領土画定と近隣諸国（P286～287）	＜地域からのアプローチ＞ ◇奈良（P46～47） ◇福岡（P58～59） ◇平泉（P68～69） ◇金沢（P148～149） ◇札幌（P205） ◇広島（P250～251）	＜でかけよう！地域調べ＞ ◇史跡見学に行こう 平安宮跡を歩く～奈良県奈良市～（P60～61） ◇歴史博物館に行こう 草戸千軒町遺跡を調べる～広島県福山市～（P100～101） ◇城下町を訪ねよう 城下町姫路を調べる～兵庫県姫路市～（P120～121） ◇近代にかかわる遺跡を訪ねよう 手宮線跡地から町の発展を探る～北海道小樽市～（P188～189） ◇戦争遺跡を訪ねよう 多摩地域の空襲を調べる～東京都立川市、東大和市～（P254～255） ◇地域の環境の歴史を調べよう 公害克服の歴史を調べる～福岡県北九州市～（P288～289）	◇地域の歴史を調べる 堺市の歴史を調べよう（P12～15） ◇修学旅行で行く奈良と京都（P64～65） ◇もっと知りたいコラム 吉野と京都2つの朝廷（P98～99） ◇もっと知りたいコラム エコロジー都市 江戸（P142） ◇歩いてみよう！江戸の町（P144） ◇日本の近代産業発祥の地 長崎（P206～207）	＜地域の歴史を調べよう＞ ◇大阪の歴史・ワクワク調査隊（P20～23） ◇横浜の歴史・ワクワク調査隊（P150～153） ◇歴史学習のまとめ ① 歴史新聞を作ろう（P280～281）	◇歴史と出会うー 6月23日、沖縄で（P4～5） ◇歴史を体験する地域の歴史を歩く（P132～133）	◇縄文時代の大規模集落 三内丸山遺跡（P30） ◇環濠集落を代表する「吉野ケ里遺跡」（P43） ◇初期の前方後円墳が密集する「纏向遺跡」（P57） ◇京都御所にはなぜお堀がないのか（P113） ◇文化遺産を調べに行こう（P175） ◇天明の大飢饉と御所千度参り（P232） ◇全国から伊勢をめざした犬たち（P244） ◇真岡郵便電信局事件（P397） ◇三船殉難事件（P400～401） ◇市町村歌を調べてみよう（P402～403） ◇昭和天皇の全国巡幸と沖縄への心残り（P434） ◇オバマ大統領の広島訪問（P451～453）
本文中で取り上げられている「特徴と創意工夫」に取り扱われている事項	古代までの日本	◇資料から発見！絵巻物から古代の人々の姿をとらえよう（P1） ◇もっと知りたい現代に生きる神話（P58～59）	◇歴史を探ろう 神話にみる古代の人々の信仰（P52～53）	◇タイムトラベル 縄文時代を眺めてみよう（P26） ◇タイムトラベル 弥生時代を眺めてみよう（P27） ◇アクティブ歴史 前方後円墳の役割を考察する（P34～35） ◇タイムトラベル	◇歴史へのアプローチ 中国の記憶に見る日本列島（P32～33） ◇歴史を考えよう 平安京と京都の街を考える（P56～57）	◇チャレンジ歴史 考古学に挑戦！よろいを着た人物のなぞを解こう（P38～39）	＜もっと知りたいコラム＞ ◇岩宿遺跡を発見した相澤忠洋（P24） ◇和の文化 縄文（P25） ◇国譲り神話と古代人（P40～41） ◇「日本」という国名のおこり（P52） ◇日本の天皇と中国	◇虫の目で見ると 貴族の生活を見てみよう（P26～27） ◇歴史ズームイン 縄文時代探検（P32～33） ◇歴史ズームイン 日本人の宗教観（P44） ◇歴史ズームイン 歴史を解明する考	◇動物とともに生きる（P10～11） ◇歴史を体験する地域の歴史を歩く（P34～35）	◇文化遺産を調べに行こう（P175） ◇身近な歴史を年表にまとめよう（P176～178）

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
				奈良時代を眺めてみよう（P36～37） ◇世界とのつながりを考えよう 8 世紀ごろの世界（P44～45） ◇世界とのつながりを考えよう 唐の都長安（P50～51） ◇タイムトラベル 平安時代を眺めてみよう（P52～53）			の皇帝（P53） ◇世界にほこる女流文学（P62～63）	古学（P45） ◇歴史ズームイン 神話に見る日本誕生の物語（P54～55） ◇歴史ズームイン 大仏開眼供養（P56～57）		
	中世の日本	◇資料から発見！屏風絵から中世の人々の生活をとらえよう（P 巻頭 3） ◇もっと知りたい 東アジア世界の国々の交流と琉球文化（P86～87）	◇歴史を探ろう 働く女性や子どもたち（P88～89）	◇タイムトラベル 鎌倉時代を眺めてみよう（P64～65） ◇アクティブ歴史 武士の暮らしから考案する（P76～77） ◇世界とのつながりを考えよう 13 世紀ごろの世界（P78～79） ◇タイムトラベル 室町時代を眺めてみよう（P90～91）	◇歴史を考えよう マンガの源流、絵巻物を考える（P76～77） ◇歴史へのアプローチ 西アジアとヨーロッパの交流（P78～79） ◇歴史へのアプローチ 琉球の歴史と文化（P88～89） ◇歴史へのアプローチ アイヌ民族の歴史と文化（P90～91） ◇歴史を考えよう 関所を考える（P95～96）	◇チャレンジ歴史 承久の乱を通して、古代から中世への変化を考えよう（P74～75）	＜もっと知りたいコラム＞ ◇武士のおこりと生活（P76～77） ◇戦国時代最大の激戦 川中島の戦い（P94～95） ◇吉野と京都 2 つの朝廷（P98） ◇一揆と合議の伝統（P99）	◇虫の目で見ると 武士の生活を見てみよう（P66～67）	◇世界を結ぶ交通手段（P54～55）	◇文化遺産を調べに行こう（P175） ◇身近な歴史を年表にまとめよう（P176～178） ◇展覧会に行こう（P261～262） ◇新聞にまとめてみよう（P263～264）
	近世の日本	◇資料から発見！浮世絵から近世の人々の生活をとらえよう（P 巻頭 2） ◇もっと知りたい アイヌ文化とその継承（P120～121）	◇歴史を探ろう 大海を越える人と物（P106～107） ◇歴史を探ろう 大名行列と藩の財政（P116～117） ◇歴史を探ろう 人口 100 万都市「大江戸」の暮らしと工夫（P138～139）	◇世界とのつながりを考えよう 16 世紀初めごろの世界（P110～111） ◇タイムトラベル 安土桃山時代を眺めてみよう（P114～115） ◇タイムトラベル 江戸時代を眺めてみよう（P90～91） ◇アクティブ歴史 赤穂事件を考察する（P156～157）	◇歴史を考えよう 江戸図屏風を読み解く（P134～135） ◇歴史へのアプローチ 都市の暮らしと名所（P144～145）	◇チャレンジ歴史 地図から、江戸時代の日本人が知っていた世界の姿を読み取ろう（P150～152）	◇外から見た日本 宣教師が見た日本（P116） ◇もっと知りたいコラム 秀吉はなぜバテレン追放令を出したのだろうか（P117） ◇コラム人物クローズアップ 「古事記」をよみがえらせた本居宣長（P134） ◇コラム人物クローズアップ 正確な日本地図をつくっ	◇虫の目で見ると 新興都市・江戸の町づくり（P98～99） ◇歴史ズームイン 江戸時代探検！（P128～129） ◇歴史ズームイン 浮世絵の影響（P140～141）	◇海でつながる世界（P86～87） ◇歴史を体験するインターネットで「洛中洛外図屏風」を見る（P104～105） ◇世界遺産に見る世界（P106～107） ◇歴史を体験する地域の歴史を歩く（P132～133）	◇展覧会に行こう（P261～262） ◇新聞にまとめてみよう（P263～264）

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
							た伊能忠敬 (P135) ◇もっと知りたいコラム 武士道と「主君押し込め」 (P140) ◇コラム人物クローズアップ 二宮尊徳と勤勉の精神 (P141) ◇もっと知りたいコラム エコロジー都市江戸 (P142) ◇外から見た日本 浮世絵とジャポニズム (P143)			
近代の日本と世界	◇資料から発見！錦絵から文明開化の様子をとらえよう (P 巻頭 1) ◇もっと知りたいメディアの発達が日本を変えた (P196) ◇世界を大きく変えてきた感染症 (P197) ◇「解放令」から水平社へ (P218～219)	◇歴史を探ろう 国民国家の成立 (P156～157) ◇歴史を探ろう 改革や平等を求めて (P164～165) ◇歴史を探ろう 人口の変化と海外への移民 (P200～201) ◇危機に立ち向かった人々 (P236～237) ◇戦争の記憶をつなぐ (P246～247)	◇世界とのつながりを考えよう 19世紀ごろの世界 (P172～173) ◇タイムトラベル 明治時代を眺めてみよう (P184～185) ◇アクティブ歴史「三酔人経論問答」を考察する (P204～205) ◇タイムトラベル 大正～昭和初期を眺めてみよう (P236～237) ◇アクティブ歴史「母性保護論争」を考察する (P248～249) ◇タイムトラベル 第二次世界大戦期を眺めてみよう (P250～251)	◇歴史へのアプローチ 国家とは何か (P175～176) ◇歴史を考えよう 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える (P178～179) ◇歴史へのアプローチ 近代日本と女子留学生 (P185～186) ◇歴史へのアプローチ 日本の植民地 (P200～201) ◇歴史へのアプローチ 1920年代の日本経済 (P225～226) ◇歴史を考えよう 第1回普通選挙の実態を探る (P228～229)	◇チャレンジ歴史 経済発展か、環境保全か、足尾鉍毒事件を通して考えよう (P210～211) ◇チャレンジ歴史 戦時体制の言論統制とその影響を考えよう (P252～253)	◇もっと知りたいコラム 明治維新とは何か (P170～171) ◇もっと知りたいコラム 琉球処分とは何か (P174) ◇もっと知りたいコラム 日本の近代化とアイヌ (P175) ◇コラム人物クローズアップ 明治憲法草案を書いた井上毅 (P186) ◇コラム人物クローズアップ 福沢諭吉の「学問のすすめ」 (P187) ◇もっと知りたいコラム 日露戦争を戦った日本人 (P194～195) ◇外の目から見た日本 世界が見た日露戦争 (P196) ◇コラム人物クローズアップ 明治国家を背負った伊藤博文 (P197) ◇コラム人物クローズアップ 日本の実業家の伝統をつ	◇虫の目で見る 文明開化の様子を見てみよう (P148～149) ◇歴史ズームイン 日露戦争の舞台裏 (P196～197) ◇歴史ズームイン 外国人が見た日本 (P200～201) ◇虫の目で見る「大衆の時代」の様子を見てみよう (P206～207) ◇歴史ズームイン 列強の植民地とアジアの民族運動 (P222～223) ◇歴史ズームイン 昭和20年、戦局の悪化と終戦 (P240～241)	◇万国博覧会に見る世界 (P136～137) ◇歴史を体験する綿から糸を紡ぐ (P158～159) ◇岩倉使節団が見た世界 (P160～161) ◇歴史を体験する対話・討論にチャレンジ (P178～179) ◇変わる世界の女性たち (P182～183) ◇歴史を体験する 山本宣治の人物調べ (P210～211) ◇大戦の終わりを迎えた世界 (P212～213)	◇歴史について議論しよう (P394) ◇市町村歌を調べてみよう (P402) ◇ディベートをしてみよう (P404～406)	

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
							くった渋沢栄一 (P204～205) ◇コラム人物クロー ズアップ 日米の 架け橋目指した新 渡戸稲造 (P246) ◇もっと知りたいコ ラム 戦時国際法 と戦争犯罪 (P247) ◇外の目から見た日 本 大東亜戦争と アジアの独立 (P248～249)			
	現代の日本と世界	◇もっと知りたい 日本のエネルギー のこれまで (P266～267) ◇震災の記憶を語り つぐ (P268～269)	◇歴史を探ろう 隣 国と向き合うため に～日本の領土を めぐる課題～ (P266～267) ◇平和と共生を願う 人々 (P282～283)	◇タイムトラベル 高度経済成長期を 眺めてみよう (P276～277)	◇歴史を考えよう 大日本帝国憲法と 日本国憲法 (P260～261) ◇歴史へのアプロ ーチ 日本の領土の 変遷 (P268～269)		◇もっと知りたいコ ラム 占領下の検 閲と東京裁判 (P258～259) ◇コラム人物クロー ズアップ 国民と ともに歩まれた昭 和天皇 (P268) ◇もっと知りたいコ ラム 水泳ニッポ ンと1964年の東京 五輪 (P269) ◇もっと知りたいコ ラム 勇気と友情 の物語 世界と交 流した近代日本 (P280～281) ◇コラム人物クロー ズアップ 世界を 驚かせた日本人 東日本大震災 (P282～283)	◇虫の目で見る 「戦後復興」の様 子を見てみよう (P246～247) ◇歴史ズームイン 日本の領土をめぐ る問題 (P256～257) ◇歴史ズームイン より速く、安全に ～新幹線の歴史～ (P264～265) ◇歴史ズームイン 国民とともに歩む 天皇 (P272) ◇歴史ズームイン 元号と日本の歴史 (P272) ◇歴史ズームイン 人口の日本史 (P273) ◇歴史ズームイン 震災の日本史 (P274～275) ◇歴史ズームイン 感染症の歴史 (P276～277)	◇今、世界の子ども たちは (P246～247) ◇歴史を体験する 一人ひとりの歴 史・家族の歴史 (P278～279)	◇ディスカッション をしよう (P455～456) ◇歴史小説・歴史漫 画を読むときの注 意 (P460～461) ※美術資料を多数掲 載 (巻末)
「日本の領域」の 取り扱われている 事項	領域を示した地 図、図表、写真 等の内容	◇国境と領土の確定 (P174) ◇領土をめぐる問題 の背景 (P176～177)	◇形づくられる日本 国家 (P174～175) ◇歴史を探ろう 隣 国と向き合うため に～日本の領土を めぐる課題～	◇新たな外交と国境 の画定 (P194～195) ◇日本の独立と世界 の動き (P284～285) ◇歴史を探ろう 日	◇明治初期の対外関 係 (P182～184) ◇歴史へのアプロ ーチ 日本の領土の 変遷 (P268～269)	◇領土の画定と隣接 地域 (P192) ◇歴史を掘り下げる 冷戦終結後の近隣 諸国との関係 (P286～287)	◇近隣諸国との国境 画定 (P172～173) ◇独立の回復と領土 問題 (P262～263) ◇21世紀の日本の進	◇明治初期の外交と 国境の画定 (P176～177)	◇北・南を組み込み、 国境を引く (P176 ～177) ◇インドも中国も来 なかった～日本の 独立～ (P256～257)	◇領土画定と朝鮮政 策 (P299～304)

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
			(P266～267)	本の領土画定と近隣諸国 (P286～287)			路 (P278～279)			
	「北方領土」に関する記載のある単元、内容	◇国境と領土の確定 (P174) ◇領土をめぐる問題の背景 (P176～177) ◇占領下の日本 (P246)	◇独立の回復 (P260～261) ◇歴史を探ろう 隣国と向き合うために～日本の領土をめぐる課題～ (P266～267)	◇新たな外交と国境の画定 (P194～195) ◇日本の独立と世界の動き (P284～285) ◇歴史を探ろう 日本の領土画定と近隣諸国 (P286～287)	◇国際関係の変化と日本の外交 (P266～267) ◇歴史へのアプローチ 日本の領土の変遷 (P268～269)	◇日本の独立と55年体制 (P270～271) ◇歴史を掘り下げる 冷戦終結後の近隣諸国との関係 (P286～287)	◇近隣諸国との国境画定 (P172～173) ◇独立の回復と領土問題 (P262～263)	◇明治初期の外交と国境の画定 (P176～177) ◇占領下の日本 (P248～249) ◇歴史ズームイン 日本の領土をめぐる問題 (P256～257) ◇日本と近隣諸国の変化 (P268～269)	◇北・南を組み込み、国境を引く (P176～177) ◇インドも中国も来なかった～日本の独立～ (P256～257)	◇領土画定と朝鮮政策 (P299～304) ◇ソ連の樺太・千島への侵攻 (巻末)
	「竹島」に関する記載のある単元、内容	◇国境と領土の確定 (P174) ◇領土をめぐる問題の背景 (P176～177)	◇形づくられる日本国家 (P174～175) ◇歴史を探ろう 隣国と向き合うために～日本の領土をめぐる課題～ (P266～267)	◇新たな外交と国境の画定 (P194～195) ◇日本の独立と世界の動き (P284～285) ◇歴史を探ろう 日本の領土画定と近隣諸国 (P286～287)	◇歴史へのアプローチ 日本の領土の変遷 (P268～269)	◇領土の画定と隣接地域 (P192) ◇歴史を掘り下げる 冷戦終結後の近隣諸国との関係 (P286～287)	◇近隣諸国との国境画定 (P172～173) ◇独立の回復と領土問題 (P262～263)	◇明治初期の外交と国境の画定 (P176～177) ◇歴史ズームイン 日本の領土をめぐる問題 (P256～257) ◇日本と近隣諸国の変化 (P268～269)	◇戦場は中国だった～日露戦争～ (P188～189)	◇冷戦と朝鮮戦争 (P423) ◇隣国との関係構築と冷戦 (P433)
	「尖閣諸島」に関する記載のある単元、内容	◇国境と領土の確定 (P174) ◇領土をめぐる問題の背景 (P176～177)	◇形づくられる日本国家 (P174～175) ◇歴史を探ろう 隣国と向き合うために～日本の領土をめぐる課題～ (P266～267)	◇新たな外交と国境の画定 (P194～195) ◇沖縄・北海道と近代化の波 (P196～197) ◇日本の独立と世界の動き (P284～285) ◇歴史を探ろう 日本の領土画定と近隣諸国 (P286～287)	◇歴史へのアプローチ 日本の領土の変遷 (P268～269)	◇領土の画定と隣接地域 (P192) ◇歴史を掘り下げる 冷戦終結後の近隣諸国との関係 (P286～287)	◇近隣諸国との国境画定 (P172～173) ◇21世紀の日本の進路 (P278～279)	◇明治初期の外交と国境の画定 (P176～177) ◇歴史ズームイン 日本の領土をめぐる問題 (P256～257) ◇日本と近隣諸国の変化 (P268～269)	◇日本と清が、朝鮮で～日清戦争～ (P184～185)	◇領土画定と朝鮮政策 (P299～304)

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項
別表2

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
小学校での既習事項及び中学校地理的分野での既習事項と関連付けた事項		◇第 1 章「歴史へのとびら」では、小学校での既習人物・文化財・出来事についてイラストと文字で示し、年表にまとめる方法を提示している。 ◇各単元の始めに小学校の学習内容を振り返っている。 ◇地理や公民の学習とつながりの強い内容には、分野関連マークを用いて示している。	◇第1章「歴史のとらえ方・調べ方」では、小学校での既習人物や建造物を中心に写真や図版で年代順にすこく形式でまとめているほか、人物カードづくりによるまとめ方を提示している。 ◇小学校での既習人物にはマークを付け、分かりやすいように工夫している。 ◇「歴史を探ろう」「身近な地域の歴史を調べよう」で、地理や公民の学習内容との関連をページ下に示している。	◇第 1 部「歴史のとらえ方と調べ方」では、小学校での既習人物・出来事を年代順にイラストで示している。 ◇第 2 部「歴史の大きな流れと時代の移り変わり」で、小学校での学びや地理・公民での学びと歴史での学びの関連を示している。 ◇各本文ページの下部分に小学校・地理・公民との関連事項を示している。 ◇各単元の導入で、その単元で学習する内容と小学校で学んだ主な出来事との関連を年表の形式で示している。	◇第 1 章「歴史との対話」では、時代区分を、小学校での既習人物を基に、考える方法を紹介している。	◇第 1 編「私たちと歴史」では、小学校で既習の人物と文化遺産を年代順にイラストなどで示している。 ◇本文中に小学校での既習事項及び地理・公民との関連があるときはページの下部分にそれが分かるように示している。	◇序章「人物を通して時代をとらえる」では、小学校で学んだ主な人物 42 人が確認できる。 ◇各章のはじめ＜予告編＞の登場人物紹介コーナーでは、小学校で学んだ人物を中心に紹介がされている。	◇序章では、小学校での既習人物を年代順に並べ、事項と関連付けて歴史の流れを振り返っている。	◇「歴史への案内」の「2. 歴史を楽しく学ぼう」では、小学校での既習の人物やできごと、文化遺産についてカードにまとめる活動を紹介している。	◇「国史を学ぶにあたって」の「一. 小学校で学んだ人物と文化」では、小学校で既習の語句を一覧にして紹介している。 ◇小学校での既習の人物の中から一人選んで調べたことをまとめてカードやノートをつくる活動を紹介している。
本文中で取り上げられている「我が国の歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に基本的な知識、概念や技能の習得を図るため」に取り扱われている事項	古代までの日本	◇エジプト文明・メソポタミア文明・インダス文明・中国文明・ギリシャ・ローマ文明 (P22～P31) ◇宗教のおこりと三大宗教 (P32～P33) ◇遣隋使 (P43) ◇遣唐使 (P44)	◇メソポタミア文明・エジプト文明・インダス文明・中国文明、ギリシャ・ローマ (P24～P29) ◇宗教の誕生 (P30～P31) ◇遣隋使 (P41) ◇遣唐使 (P46)	◇メソポタミア文明・エジプト文明・インダス文明・中国文明 (P18～P19) ◇ギリシャとローマの政治と文明 (P22～P23) ◇仏教・キリスト教・イスラム教の誕生 (P24～P25) ◇遣隋使 (P39) ◇遣唐使 (P40)	◇メソポタミア文明・エジプト文明・インダス文明・ギリシア文明・ローマ帝国・中国文明 (P18～P23) ◇宗教のおこり (P24～P25) ◇遣隋使 (P36～P37) ◇遣唐使 (P43)	◇メソポタミア文明・エジプト文明・インダス文明・中国文明 (P24～P25) ◇ギリシャ・ローマの文明 (P28～P29) ◇文明と宗教－世界の宗教の誕生と広まり－ (P30～P31) ◇遣隋使・遣唐使 (P42)	◇世界の古代文明 (P26) ◇中国の古代文明 (P28) ◇ギリシャ・ローマの文明 (P30) ◇宗教のおこり (P32) ◇大和朝廷と東アジア (P42) ◇遣隋使の派遣 (P46) ◇遣唐使 (P48)	◇メソポタミア文明・エジプト文明・インダス文明・中国文明 (P35) ◇ギリシャとローマの文明 (P36) ◇世界の宗教と日本 (P42) ◇遣隋使 (P47) ◇遣唐使 (P51)	◇メソポタミア文明・エジプト文明・インドの文明・中国の文明 (P15～P21) ◇古代ギリシアとローマ (P22) ◇宗教の広がり (P36) ◇遣隋使 (P38) ◇遣唐使 (P40)	◇世界の文明と日本 (P31～P35) ◇宗教の起こり (P36～P39) ◇ギリシャ・ローマの文化 (P44～P46) ◇中国大陆と朝鮮半島の状況 (P46～P49) ◇遣隋使 (P73) ◇遣唐使 (P83)
	中世の日本	◇日宋貿易 (P73) ◇モンゴル帝国とユーラシア世界 (P78～P79) ◇モンゴルの襲来 (P80～P81) ◇東アジアとの交流	◇日宋貿易 (P65) ◇大陸をまたぐモンゴル帝国 (P72～P73) ◇海から押し寄せる元軍 (P74～P75) ◇勘合貿易 (P79)	◇平氏の政治と日宋貿易 (P69) ◇モンゴル帝国と蒙古襲来 (P78～P81) ◇室町幕府と日明貿易 (P86～P87)	◇日宋貿易 (P67) ◇モンゴルの襲来 (P82) ◇勘合貿易・日朝貿易 (P86～P87)		◇日宋貿易 (P71) ◇元の襲来 (P82～P83) ◇勘合貿易 (P89)	◇日宋貿易 (P72) ◇モンゴル帝国と世界史の成立 (P78) ◇元寇 (P80) ◇勘合貿易 (P86)	◇宋との貿易 (P75) ◇モンゴル帝国の襲来 (P80) ◇勘合貿易 (P85)	◇世界を結ぶ交通手段 (P54) ◇宋との交易 (P57) ◇モンゴル帝国と東アジア (P69) ◇明を中心とした東アジア (P73)

調査項目	発行者名								
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
	(P84～P85)								
近世の日本	◇ヨーロッパ世界の 変化・拡大 (P100～P103) ◇ヨーロッパ人との 出会い (P104～P105) ◇朝鮮侵略 (P109) 積極的な貿易政策 (P114) ◇江戸時代の対外 関係 (P116～P117) ◇異国船打払令と大 塩の乱 (P136) ◇イギリスとアメリ カの革命 (P146～P147) ◇フ ラ ン ス 革 命 (P148～P149) ◇ヨーロッパにおけ る国民意識の高ま り (P150～P151) ◇ロシアの拡大とア メ リ カ の 発 展 (P152～P153) ◇産業革命と資本主 義 (P154～P155) ◇欧米のアジア侵略 (P156～P157) ◇開国と不平等条 約 (P156～P157)	◇教会と「コーラン」 の教え (P98～P99) ◇ルネサンスと宗教 改革 (P100～P101) ◇ヨーロッパ人の大 航海 (P102～P103) ◇鉄砲とキリスト教 の伝来 (P104～P105) ◇南蛮貿易 (P105) ◇秀吉の外交と朝鮮 侵略 (P111) ◇朱印船貿易と日本 町 (P118) ◇江戸時代の国際関 係 (P120～P121) ◇外国船の接近 (P134) ◇イギリスの台頭と 革命 (P146～P147) ◇アメリカの独立革 命とフランス革命 (P148～P149) ◇イギリスの産業革 命 (P150) ◇欧米列強の成立 (P152～P153) ◇列強によるアジア の植民地化と抵抗 (P154～P155) ◇ペリーの来航と開 国 (P158～P159) ◇新しい国際関係の 確立 (P172～P173)	◇ヨーロッパの変革 (P106～P107) ◇大航海時代の幕開 け (P108～P109) ◇鉄砲の伝来・キリ スト教の伝来・南 蛮貿易 (P112～P113) ◇文禄・慶長の役 (P119) ◇東南アジアと朱印 船貿易 (P127) ◇四つに絞られた貿 易の窓口 (P128～P129) ◇市民革命の始まり (P162～P163) ◇人権思想からフラ ンス革命へ (P164～P165) ◇産業革命と資本主 義の成立 (P166～P167) ◇欧米諸国の近代国 家建設 (P170～P171) ◇外国船の来航と幕 府の対応 (P176) ◇アメリカ船の来航 と開国 (P180) ◇日清修好条規の締 結・征韓論と日朝 修好条規の締結 (P194～P195) ◇朝鮮をめぐる対立 日清戦争 (P208～P209)	◇ルネサンスと宗教 改革 (P104～P105) ◇大航海時代とヨー ロッパ の海外進 出 (P106～P107) ◇鉄砲伝来・南蛮貿 易・キリスト教の 伝 来 (P112 ～P113) ◇朝鮮侵略 と日明 交渉 (P116～P117) ◇貿易振興と朱印 船・禁 教 と 貿 易 統制 (P124～P125) ◇対外関係と四つの 窓口・長崎貿易 (P126 ～ P127) ◇対外的な危機 (P140～ P141) ◇異 国 船 打 払 令 (P146) ◇市民革命の時代 (P156 ～P159) ◇産業革命と社会の 変化 (P160～P161) ◇アメリカの発展と ロシア の東方開 発 (P162～P163) ◇欧州列強のアジア 侵略 (P164～P165) ◇開国と条約締結 (P166 ～P167) ◇明治初期の対外関 係 (P182～P183)	◇イスラム教の世界 とキリスト教の世 界 (P108～P109) ◇つながれてゆく 世界 (P110～P111) ◇鉄砲とキリスト教 の伝来 (P113) ◇秀吉の海外政策 (P114～P115) ◇朱印船貿易から鎖 国へ (P126～P127) ◇朝鮮との国交回 復 (P129) ◇産業革命 (P158～ P159) ◇王政から議会制 へ (P160～P161) ◇アメリカの独立と フ ラ ン ス 革 命 (P162～P163) ◇新興勢力の台頭 (P164～P165) ◇ヨーロッパのアジ ア侵略 (P166～P167) ◇外国船の接近 (P168) ◇開国 (P170～P171) ◇清や朝鮮との外 交 (P185) ◇領土の画定を目指 して (P186)	◇ルネサンスと宗教 改革 (P106) ◇ヨーロッパ人の世 界進出 (P108) ◇ヨーロッパ人の来 航 (P110) ◇秀吉はなぜバテレ ン追放令を出した のだろうか (P117) ◇朱印船貿易から鎖 国へ (P122) ◇欧米諸国の日本接 近 (P138)	◇ルネサンスと宗教 改革 (P102) ◇ヨーロッパ人の世 界進出 (P104) ◇ヨーロッパ人の来 航 (P106) ◇キリスト教の禁 止・対外政策と朝 鮮出兵 (P111) ◇「鎖国」への道 (P116) ◇「鎖国」の時代に開 かれていた窓 口 (P118) ◇欧米諸国の接近 (P134) ◇イギリスの革命と ア メ リ カ 独 立 (P154) ◇フ ラ ン ス 革 命 (P156) ◇産業革命と資本主 義の成立 (P158) ◇欧米諸国のアジア 進出 (P162) ◇黒船来航の衝撃 (P164) ◇明治初期の外交と 国境の画定 (P176) ◇日清戦争 (P189) ◇日露戦争 (P191) ◇国際的地位の向上 と韓国併合 (P192)	◇ポルトガルの進 出・キリスト教の 改革とイエズス会 (P88～P89) ◇大西洋の東と西で (P90～P91) ◇鉄砲とキリスト教 (P92～P93) ◇秀吉の朝鮮侵略 (P98～P99) ◇江戸幕府の外交 (P102～P103) ◇朝鮮・琉球との外 交 (P116～P117) ◇北 か ら の 黒 船 (P128～P129) ◇合 衆 国 の 成 立 (P138～P139) ◇フ ラ ン ス 革 命 (P140～P141) ◇産業革命 (P142～P143) ◇アヘン戦争と江戸 幕府・琉球王国 (P147) ◇ペ リ ー の 来 航 (P150～P151) ◇領土画定と外交 (P176～P177) ◇日清戦争 (P184～P185) ◇日露戦争 (P188～P189) ◇韓国併合 (P192～P193)	◇世界の動きと日本 (P185～P188) ◇大航海時代 (P188～P189) ◇鉄砲の伝来と南蛮 貿易 (P190) ◇秀吉の政治と北京 遷都計画 (P198～P202) ◇朱印船貿易から鎖 国へ (P214～P216) ◇鎖国下の対外窓口 (P217～P219) ◇押し寄せる欧米諸 国 (P245～P247) ◇幕府に下った「海 防の勅」 (P248～P250) ◇ペリー来航と開国 (P250～P257)
近代の日本と 世界	◇近代的な国際関係 (P172～P173) ◇欧米列強の侵略と 条約改正 (P184～P185) ◇日清戦争	◇アジアに迫る列強 (P184) ◇日清戦争と三国干 渉 (P186～P187) ◇義和団事件と日英 同盟	◇世界が注目した日 露戦争 (P210～P211) ◇韓国併合と植民 地・満州での政策・ 辛亥革命・中華民	◇欧米の帝国主義 (P190～P191) ◇日清戦争 (P194～ P195) ◇日露戦争と東ア ジア	◇列強の動向とア ジア (P196～P197) ◇朝鮮をめぐる対立 (P198～P199) ◇朝鮮・満州をめぐ	◇イギリスの市民革 命とアメリカの独 立 (P150) ◇啓蒙思想とフラン ス革命 (P152) ◇産業革命と欧米の	◇第一次世界大戦 (P208) ◇ロシア革命と第一 次世界大戦の終結 (P210) ◇国際協調とアジア	◇第一次世界大戦 (P196～P197) ◇日本の参戦と中国 (P198～P199) ◇世界恐慌と経済政 策 (P216～P217)	◇イギリス革命とア メ リ カ 独 立 戦 争 (P271) ◇イギリス産業革命 と資本主義 (P278) ◇欧米列強のアジア

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
		(P186 ～P187) ◇日露戦争 (P188～P189) ◇韓国の植民地化 (P190) ◇第一次世界大戦 (P204～P205) ◇国際協調の高まり (P208～P209) ◇世界恐慌と各国の 対策 (P220～P221) ◇欧米の情勢とファ シズム (P222～P223) ◇満州事変と軍部の 台頭 (P226～P227) ◇日中戦争の開始と 長期化 (P230) ◇第二次世界大戦の 始まり (P230～P231) ◇太平洋戦争の開始 (P233～P234) ◇戦争の終結 (P236 ～P237)	(P188～P190) ◇ 日露戦争とその 影響 (P191～P192) ◇韓国併合と辛亥革 命 (P192～P193) ◇第一次世界大戦と 日本 (P210～P211) ◇新しい国際体制と 民主主義の広がり (P214～P215) ◇世界恐慌とファシ ズムの台頭 (P226～P227) ◇満州事変から国際 連盟脱退へ (P230～P231) ◇軍国主義の高まり と日中戦争 (P232～P233) ◇太平洋戦争の始 まり (P240～P241) ◇第二次世界大戦の 終結 (P244～P245)	国 (P212～P213) ◇第一次世界大戦の 始まりと総力戦 (P228～P229) ◇第一次世界大戦の 拡大と日本 (P230～P231) ◇ベルサイユ条約と 民族自決・国際連 盟 の成立 (P232～P233) ◇世界恐慌と行き詰 まる日本 (P234～P235) ◇欧米諸国が選択し た道 (P254～P255) ◇日中戦争 (P258) ◇第二次世界大戦へ の道 (P262～P263) ◇太平洋戦争と植民 地 支 配 の 強 化 (P264～P265) ◇ポツダム宣言と日 本の敗戦 (P270～P271)	(P196～P197) ◇日本の大陸進出と 辛亥革命 (P198～P199) ◇第一次世界大戦と 国際関係 (P214～P215) ◇ヴェルサイユ条約 と国際関係 (P218～P219) ◇世界恐慌とその対 応 (P232～P233) ◇ファシズムの台頭 (P234 ～P235) ◇日中戦争の始まり と長期化 (P240) ◇第二次世界大戦 (P242～P245) ◇太平洋戦争の始 まり (P244～P245) ◇戦局の悪化と戦争 の終結 (P248～P249)	る日本とロシアの 対立 (P200～P201) ◇日本の朝鮮支配 (P202～P203) ◇第一次世界大戦 (P218～P219) ◇アジアの民族運動 と国際協調 (P224～P225) ◇世界恐慌と各国の 対応 (P236～P237) ◇日中全面戦争と戦 時体制 (P242～P243) ◇第二次世界大戦の 始まり (P244～P245) ◇アジア・太平洋で の戦争 (P246～P247) ◇第二次世界大戦の 終結 (P250～P251)	発展 (P154) ◇欧米列強のアジア 進出 (P156) ◇ペリーの来航と開 国 (P158) ◇近隣諸国との国境 画定 (P172) ◇日清戦争と三国干 渉 (P188) ◇日英同盟 (P190) ◇国家の命運をかけ た日露戦争 (P192) ◇日露戦争を戦った 日本人 (P194) ◇世界列強の一員・ 日本と東アジア (P198) ◇第一次世界大戦と 日本の参戦 (P212) ◇ロシア革命と大戦 (P214) ◇日米関係とワシン トン会議 (P220) ◇世界恐慌とその影 響 (P224) ◇日中戦争 (P232) ◇第二次世界大戦の 始まり (P236～P244)	の民族運動 (P212) ◇世界恐慌と国際協 調の行きづまり (P224) ◇共産主義とファシ ズムの台頭 (P226) ◇満州事変と軍部の 台頭 (P228) ◇日中戦争と戦時体 制 (P230) ◇第二次世界大戦 (232) ◇太平洋戦争 (P234) ◇第二次世界大戦の 終結 (P238)	◇日本の中国侵略 (P220～P221) ◇日中戦争 (P224～P225) ◇第二次世界大戦開 戦 (P226～P227) ◇アジア太平洋戦争 (P228～P229) ◇ヨーロッパの戦争 (P230～P231) ◇日本の敗戦 (P242～P243)	進出 (P280) ◇欧米列強の日本遠 征 (P283) ◇ペリーとハリスの 要求 (P284) ◇領土画定と朝鮮政 策 (P299) ◇条 約 改 正 交 渉 (P312) ◇朝鮮における日清 の対立 (P314) ◇三国干渉 (P317) ◇義和団事件と日英 同盟 (P321) ◇日露戦争 (P321) ◇ポーツマス条約 (P328) ◇韓国併合と中華民 国の建国 (P330) ◇第一次世界大戦 (P337) ◇満州事変と満州国 建国 (P352) ◇世界恐慌と国際協 調の終焉 (P356) ◇盧溝橋事件 (P361) ◇第二次世界大戦の 勃発 (P367) ◇日独伊三国同盟と 日米交渉の決裂 (P370) ◇ポツダム宣言と原 爆投下 (P390) ◇ソ連参戦と戦争終 結 (P392)
	現代の日本と 世界	◇ 占 領 下 の 日 本 (P246～P247) ◇新中国の成立と朝 鮮戦争 (P251) ◇独立の回復と 55 年 体制 (P252～P253) ◇冷戦後の国際社会 (P260～P261) ◇持続可能な社会に 向けて (P264～P265)	◇連合国軍の日本占 領 (P254) ◇新しい中国と朝鮮 戦争 (P259) ◇独立の回復と国際 社 会 へ の 復 帰 (P260～P261) ◇安保改定と国交正 常化 (P264～P265) ◇冷戦終結後の世 界 (P274～P275)	◇連合国軍の日本占 領 (P278) ◇中国の新国家と朝 鮮戦争 (P283) ◇平和条約の調印と 国際連合への加盟 (P284) ◇55 年体制と安保闘 争 (P284) ◇グローバル化が進 む世界 (P298～P299)	◇ 占 領 下 の 日 本 (P256～ P257) ◇冷戦の時代 (P262) ◇独立回復と日米安 保条約 (P264～P265) ◇国際関係の変化と 日本の外交 (P268～P269) ◇冷戦の終結 (P274～ P275) ◇今日の世界 (P278	◇占領と改革の始ま り (P262～P263) ◇第二次世界大戦後 の世界 (P268～P269) ◇国際社会への復帰 と 55 年体制 (P270 ～P271) ◇東西対立と緊張緩 和 (P272～P273) ◇冷戦下のアジアと 日本	◇占領と改革の始ま り (P262～P263) ◇第二次世界大戦後 の世界 (P268～P269) ◇国際社会への復帰 と 55 年体制 (P270 ～P271) ◇東西対立と緊張緩 和 (P272～P273) ◇冷戦下のアジアと 日本	◇ 占 領 下 の 日 本 (P256) ◇米ソ冷戦の激化と 憲法改正 (P262) ◇冷戦終結 (P274) ◇勇気と友情の物語 世界と交流した近 代日本 (P280)	◇ 占 領 下 の 日 本 (P248) ◇冷戦の始まりと朝 鮮戦争 (P252) ◇独立の回復と安保 条約 (P254) ◇冷戦終結後の世界 (P266) ◇これからの世界と 日本 (P270)	◇占領と日本の民主 化 (P248～P249) ◇朝鮮戦争と冷戦 (P254～P255) ◇日本の独立 (P256～P257) ◇日米安保条約の改 定 (P260～P261) ◇第三世界と東西陣 営 (P264～P265) ◇中東戦争と石油危 機 (P268～P269)

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
			◇アジアの成長と課題 (P277) ◇世界の中の市民の一人として (P280～ P281)	◇国際社会におけるこれからの日本 (P302～P303)	～P279)	(P274～P275) ◇冷戦の終わりとグローバル化 (P280～P281) ◇グローバル化のなかの日本 (P282～P283)			◇日中国交正常化と東アジア (P270～P271) ◇冷戦の終結と新たな戦争 (P272～P273)	
時代の区分やその移り変わりに気付く学習で取り上げられている事項		【第 1 章歴史へのとびら】 ◇「歴史の流れ」で、小学校で学習した主な人物や文化財、出来事などのイラストを年代順に並べ、歴史の流れを整理している。 ◇1 節の「2 歴史の流れのとりえ方」と「スキル・アップ4 年表にまとめよう」で、小学校で学んだ人物・文化財・出来事を挙げ、それらを年表に整理するページを設けている。 ◇各見開きの右部分に年表を表示し、そのページの内容が年表中のどの部分に当たるのかを色で示している。 ◇1 節の「1 時期や年代の表し方」と「スキル・アップ3 年表を読み取ろう」で、時代区分の表し方などについて説明している。	◇【第 1 章歴史のとりえ方・調べ方】で、歴史年表を使い、歴史の流れを捉えられるようにしている。 ◇各見開きの見出しの上に年表を表示し、そのページの内容が年表中のどの部分に当たるのかを黄色で示している。 ◇各章末にある「学習のまとめと表現」で、時代の移り変わりを確かめる学習活動を設けている。	【第 1 部歴史のとりえ方と調べ方】 ◇「歴史をたどろう」のページを設け、小学校で学習した主な人物や文化財、出来事などのイラストを年代順に並べ、歴史の流れを整理している。 ◇各見開きの右端に年表を設け、そのページの内容が年表中のどの部分に当たるのかを色で示している。 ◇「タイムトラベル」のページを設け、小学校で学習した主な人物のイラストや文化財、出来事などを年代順に並べ、歴史の流れを整理している。 ◇「章の学習を振り返ろう」で、学んだことについて年表などを用いながら時代の移り変わりとともに確かめられるようにしている。 ◇第 1 部第 1 節「歴史の流れと時代区分」で、年代の表し方と時代区分について説明している。	◇各章の導入において、年表を示し、歴史の大きな流れがつかめるようにしている。 ◇「第 1 章歴史との対話」で、年代の表し方や時代区分について説明している。	◇【第 1 編私たちと歴史】で、小学校で学習した主な人物や文化財、出来事などのイラストを年代順に並べ、歴史の流れを整理している。 ◇各編の導入と振り返りで、年表を用いて時代の流れを整理している。 ◇各見開きの右端に年表を設け、そのページの内容が年表中のどの部分に当たるのかを色で示している。 ◇随所に、そのページの内容・主題に沿った事項のみを取り上げた年表を設けている。 ◇チャレンジ歴史「承久の乱を通して、古代から中世への変化を考えよう」で、時代の移り変わりについて考察しようとしている。 ◇年代・時代区分の表し方で、年代の表し方や時代区分について説明している。	◇各章の導入と単元末において、小学校で学習した人物や中心となる出来事を基にして、歴史の大きな流れがつかめるようにしている。 ◇各見開きの下部分に年表を設け、そのページの内容が年表中のどの部分に当たるのかを色で示している。 ◇「年代の表し方と時代区分」で、年代や時代の表し方や時代区分について説明している。	◇序章で、小学校で学習した主な人物や文化遺産、出来事などのイラストを年代順に並べ、歴史の流れを整理している。 ◇各章のとびらのページで歴史モノサシを使って、学習内容を概観できるようにしている。 ◇各章の導入で、「鳥の目で見える歴史絵巻」として、人物や出来事のイラストなどで学習内容を概観できるようにしている。 ◇各章のまとめで年表を用いて時代を振り返っている。 ◇「年代や時代区分の表し方」で、歴史モノサシを使って、年代や時代区分について説明している。	◇序章で世界各国王朝略年表を紀元前 2000 年～紀元前 200 年まで示している。 ◇「序 国史を学ぶにあたって」の「二. 年代や時代の表し方」で元号、西暦、世紀、干支、時代区分について説明がされている。「四. 歴史的な見方・考え方」では年代と時系列、推移について説明がされている。 ◇各章のまとめ学習で学習範囲の年表を掲載し、重要語句を穴抜きで答えることができるように工夫されている。	

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項
別表3

調査項目	発行者名								
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
言語活動を充実させるための工夫	◇身近な地域の歴史について調べたことを発表する際に、興味関心を高め、分かりやすい発表にするための留意事項を示している。 ◇「みんなでチャレンジ」で、グループで協力しながら取り組む、対話的な活動を設定している。(36 個所) ◇各見開きの「トライ」で、そのページの内容から語句指定や字数制限を伴って説明する課題を設定している。 ◇「地域の歴史を調べよう」で、話し合いを通じてまとめ、発表する方法について示している。 ◇各章の「まとめの活動」の「節の問いを解決しよう」で、課題に対して答える活動を設定している。 ◇各章の「まとめの活動」で、思考ツールを使ってまとめ、説明する課題を設定している。 ◇「資料から発見！」で、対話的な活動を通して、歴史への関心を高め、資質・能力を育成する工夫をしている。	◇各見開きの「表現！」で、学習内容を自分の言葉で説明したり、対話したりすることで深める課題を設定している。 ◇「身近な地域の歴史を調べよう」で、調べたり、まとめて発表したりする活動を示している。 ◇各章ごとの「学習のまとめと表現」で、学習内容に関連して説明する課題を設定している。	◇各見開きの「説明しよう」で、学習内容を自分の言葉で説明する課題を設定している。 ◇各節の「問いを振り返ろう」で、節の学習内容を自分の言葉で説明する課題を設定している。 ◇「章の学習を振り返ろう」で、章の問いに対して自分の考えをグループで話し合い、それを基にまとめて説明する活動を設定している。	◇各章の「まとめ」で、学習内容を振り返り、指定語句や自分の言葉を使って文章でまとめる課題を複数設定している。 ◇「歴史との対話」の中で、「歴史を大きく変えた人物」を自分の言葉で人物カードにまとめる方法を示している。 ◇「身近な地域を調べよう」の「3 レポートをつくって発表しよう！」で、レポートの書き方や発表での分かりやすい伝え方などについて紹介している。	◇「まとめと振り返り」で習得した知識を基に自分の考えを自由記述する欄を設けている。 ◇「チャレンジ歴史」で、資料を基に、対話を通じて課題に取り組み、最後に自分の言葉でまとめる活動を設定している。 ◇「スキルUP」で、調べ学習について、説明の仕方やまとめ方について示している。	◇身近な地域の歴史について調べたことを発表する際に、興味関心を高め、分かりやすい発表にするための留意事項を示している。 ◇「人物を通して時代をとらえる」で、人物カードや人物伝記の作成を通して、時代を捉え、歴史への興味・関心を高めさせることができるように設定している。 ◇各章のまとめで、出来事の「まとめ図」とそれに対する対話形式の説明文が丁寧に示されている。	◇各見開きの「探究」で、学習内容を確認し、自分の言葉で説明できるようにしている。 ◇「地域の歴史を調べてみよう」で発表のレポートを例示して言語活動の充実を図っている。 ◇各章の「学習のまとめ」で、資料の読み取りを通して、時代像を文章で表現する課題を設定している。 ◇「歴史学習のまとめ」で、「日本の歴史を大観する」という課題に取り組み、最後に「日本の歴史を学んで」というテーマで 400 字の文章を作成し自分の言葉で歴史を表現する課題を設定している。	◇各部の「学習のまとめ」で、指定語句を使って学習内容を説明する課題を設けている。 ◇「章をふりかえる」で、学習内容をまとめたり、話し合ったりする課題を設けている。 ◇「歴史を体験する」の「対話・討論にチャレンジ」で、『学問のすゝめ』をどう読むかについて、話し合う活動を設定している。 ◇「歴史を体験する」の「地域の歴史を歩く」で、インタビューをしたり、調べたことをグループやクラスで発表したりする活動が紹介されている。	◇「国史を学ぶにあたって」の「三. グループで歴史を調べよう」で歴史についてグループで調べまとめたことを発表する方法について、順を追って紹介している。 ◇各章のイロハ～それぞれに「課題」が設定されており、自分なりの考えをまとめることができるよう工夫されている。 ◇ディベートをしてみよう（近代）で、学習したことを基に「明治維新は正しかったか」について肯定と否定に分かれてディベートを行う活動が設定されている。

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
歴史的事象を多面的、多角的に考察するための工夫		◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置して歴史的事象を多面的・多角的に考察するための工夫をしている。 ◇「見方・考え方」で、歴史的な見方・考え方を活用して考察するための工夫をしている。	◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。 ◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。 ◇歴史にアプローチで、歴史の「見方・考え方」を働かせる学習の進め方について説明している。 ◇「歴史を探ろう」で視点を变えて、歴史的事象を多面的・多角的に学習内容を捉えなおせるように工夫している。 ◇「歴史を探ろう」で「働く女性や子どもたち」のように社会を支えた人々を取り上げるなど、歴史上の多様な人物を取り上げ、各時代における考え方や、対立などについて理解し、考察できるようにしている。 ◇巻末の学習資料で、理解を支援できるようにしている。	◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。 ◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。 ◇「タイムトラベル」で、連続する 2 つの時代を比べて時代の特色をつかめるようにしている。 ◇「歴史的な見方・考え方」で、社会の出来事を多面的・多角的に考える力を育成する工夫をしている。 ◇巻頭 9 で考えを整理する方法で思考ツールを紹介し、考察を深めることができるよう工夫している。	◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。 ◇図版などを読み取るための視点を示している。 ◇「歴史を考えよう」で、美術作品や史料・地図などを取り上げて、歴史を多面的・多角的に考察するための工夫をしている。 ◇「地域からのアプローチ」で、地域を通した歴史学習を紹介し、歴史を学ぶことの現代的な意味を考えている。	◇考察に有用な資料や資料を各ページに配置している。 ◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。 ◇各見開きの「見方・考え方」で、学習課題の解決の手がかりや、理解を深めるための問いを示している。 ◇「テーマ別さくいん」を設け、歴史学習を振り返って、それまでとは異なった視点や方法で、災害や政治参加などのテーマに取り組めるようにしている。 ◇「歴史+α」「先人に学ぶ」「地域に学ぶ」で、歴史的事象を多面的・多角的に考察するための工夫をしている。	◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。 ◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。 ◇章のまとめでは、「時代の特徴を考えるページ」で、時代の特徴を捉えるための考察の視点を示している。	◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。 ◇登場人物の吹き出しにより考察の視点を示している。 ◇「歴史ズームイン」で、様々な資料を提示し、歴史的事象を多面的・多角的に考察するための工夫をしている。	◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。 ◇本文であえて太字を用いて語句を強調せず、生徒が自分なりに歴史的事象を捉えることができるようにしている。 ◇巻末の年表で、時代区分に「北海道など」「本州など」「沖縄など」の欄を設け、各地の出来事を具体的に捉えられるようにしている。 ◇巻末の年表で、「政治・経済」「文化・宗教」「世界の動き」の欄を設け、図版や写真資料を用いて関連を掴めるようにし、歴史的事象を多面的・多角的に考察するための工夫をしている。	◇考察に有用な資料や史料を各ページに配置している。 ◇各項目の課題、考えようなど学習に対して自らの考察が行える活動が設定されている。 ◇本文最後に文献史料を掲載し、考察をより史料に基づいたものにできるようにしている。
各時代の特色をとらえ、自分の言葉で表現できる（表現する）ように例示されている事項	古代までの日本	まとめの活動（P60） ◇探究課題「古代の日本では、どのように国家が形成されたのでしょうか。」に対して節ごとの探究のステップ課題が設定されている。 ◇探究のステップ ①環境や社会の変化にともなっ	◇各見開きの「表現！」で、学習内容と関連した事項を「説明しよう」という課題を提示し、時代の特色を自分の言葉で表現するようにしている。 ◇章の問い「国はどのように生まれたのだろうか」に対	◇各見開きの「説明しよう」で、学習内容と関連した事項を自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇節の問いを振り返り、説明する課題を提示している。（P60） ◇「学習を振り返ろう」	◇章のまとめ ・文明が大きな川の流域で 登場したのはなぜか考えてみよう。 ・どのようにしてクニが誕生したか、まとめてみよう。 ・大化の改新で目指されたのはどのような国家で	◇各見開きの「確認」「表現」で、学習内容と関連した事項を、自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇編ごとの問い「日本という国はどのように生まれ、発達していったのでしょうか」を確認して、「まとめと振	◇時代の特徴を考えるページ（P67） 「古代とはどのような時代だったのだろうか」 ・人物比較の問題 ・歴史用語を 3 つの文で紹介する「歴史用語ミニ辞典」 ・章の学習で学んだ重要な言葉	◇学習のまとめ「原始・古代の時代を振り返って考えてみよう。」 ・資料を見ながら古代の日本の変化について考えましょう。 ・この学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような	◇第 1 章をふりかえる ・世界の古代文明に共通点はあるでしょうか。ちがいはあるでしょうか。まとめてみましょう。 ・この時代に、朝鮮半島や中国から、日本列島にもたらされたも	◇古代までのまとめ（P118） ・政治 白河上皇はなぜ院生を開始したのでしょうか。 ・文化 飛鳥・天平・国風文化の正しい説明を選びなさい。 ・外交

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
		て、人類は何を生み出していったのでしょうか。 ②日本の社会は、大陸とのつながりの下で、どのように変化したのでしょうか。 ③東アジアでの交流の中で、なぜ律令国家が成立し、変化していったのでしょうか。 ◇ステップチャートを使って、探究課題に対しての自らの考えを整理して表現できるように工夫されている。(P62)	して、「学習のまとめと表現」でステップに応じて考えを整理し表現できるよう工夫されている。(P56～58) ◇各章の問いについて考えるときにJUMP!で「歴史的な見方・考え方」を使って時代の特色を考えることができるよう工夫されている。	・章の問い「国づくりが行われていった古代の社会には、どのような特色があったのだろうか」に対して学習の振り返り ・話し合いを通して自分の考えを深めよう。 ・この時代の特色を理由とともに考察しよう。(P62)	あったか、それまでの国家のあり方と比較してみよう。 ・律令の下で、政府はどのように地方を支配したのだろうか。 ・平安時代の仏教について、奈良時代と比較して説明しよう。 ・摂関政治において、摂政や関白はどのように政治的権力をにぎったのか説明しよう。(P60～P61)	り返り」「古代まで」の特色をつかもう！で学習を振り返ることができるよう活動が設定されている。 ・いつ、どこで、何があった？ ・どんな時代？ ・学習を振り返ろう (P63)	(キーワード)を1つあげ、作文をつくる「ひとこと」作文 ・時代比較の問題 ・意見交換会	時代だったといえるのかを考え、その理由と合わせてノートに書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみましょう。(P62)	のをあげてみましょう。そのなかで、一番重要だと思うものとその理由を考えて、話し合いましょう。 ◇第1部原始・古代(1章・2章) 学習のまとめ ・これまで学んできたことをふりかえり、人びとの生活や社会のようす、制度や文化はどのように変化していったのでしょうか。印象に残ったことを自分の言葉で書きましよう。(P53)	古代までの我が国が、中国王朝とどのように関わっていたか、時代ごとにそれぞれまとめなさい。 ・産業 古代の税について穴埋めしなさい。
	中世の日本	まとめの活動 (P94) ◇探究課題「武士が生まれ、その支配が広がった中世の日本で、社会はどのように変化したのでしょうか」に対して節ごとの探究のステップ課題が設定されている。 ◇探究のステップ ①なぜ武士は政権を立て、社会を動かすほどの力を持つようになったのでしょうか。 ②東アジアでの交流が進み、産業や文化が発達する中で、民衆はどのようにして力を持つようになったのでしよ	◇各見開きの「表現！」で、学習内容と関連した事項を「説明しよう」という課題を提示し、時代の特色を自分の言葉で表現するようにしている。 ◇章の問い「武士と民衆の成長によって、社会はどのように変化したのだろうか」に対して、「学習のまとめと表現」でステップに応じて考えを整理し表現できるよう工夫している。(P92～P94) ◇各章の問いについて考えるときにJUMP!で「歴史的な見方・考え方」を使って時代の特色	◇各見開きの「説明しよう」で、学習内容と関連した事項を自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇節の問いを振り返り、説明する課題を提示している。(P102) ◇「学習を振り返ろう」 ・章の問い「武士による政治が行われたことによって、社会はどのように変化したのだろうか」に対して学習の振り返り ・話し合いを通して自分の考えを深めよう。 ・この時代の特色を理由とともに	◇章のまとめ ・あなたは農村をまとめる 武士です。最近隣村の人々があなたの領地に立ち入ってきます。あなたはどのように対応するのでしょうか。だれをたよれば効果的か考えながら、対応策を練ってみよう。 ・あなたは農民です。今年是天候が悪く、農作物の育ちが良くありませんでした。自分たちの生活を守るために、何ができるのでしょうか。だれからの支配を受けていたのか	◇各見開きの「確認」「表現」で、学習内容と関連した事項を、自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇編ごとの問い「たえず戦乱がくり返される時代となったのは、なぜなのでしょうか。」を確認して、「まとめと振り返り」「中世」の特色をつかも う！で学習を振り返ることができるよう活動が設定されている。 ・いつ、どこで、何があった？ ・どんな時代？ ・学習を振り返ろう (P103)	◇時代の特徴を考えるページ (P103) 「中世とはどのような時代だったのだろうか」 ・人物比較の問題 ・歴史用語を3つの文で紹介する「歴史用語ミニ辞典」 ・章の学習で学んだ重要な言葉 (キーワード)を1つあげ、作文をつくる「ひとこと」作文 ・時代比較の問題 ・意見交換会	◇学習のまとめ「中世の時代をふり返って考えてみよう。」 ・資料を見ながら中世の日本の変化について考えましよう。 ・この学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったといえるのかを考え、その理由と合わせてノートに書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみましよう。(P94)	◇第1部中世 (3章をふりかえる) 学習のまとめ ・学習をふりかえり、(1) から (4) の課題を文章にまとめてみましよう。印象に残ったことや、さらに知りたいことがあったら、それらも書きましよう。グループやクラスで発表ましよう。(政治や社会の変化、アジアの国々や地域との交流、産業の発達や民衆の行動、仏教や文化) ・第2部・中世は、どのような人々が力を持った時代だったでしよ	◇中世のまとめ (P182) ・政治 中世の政治の流れを正しい順に並び変えなさい。 ・文化 鎌倉文化・北山文化・東山文化の正しい説明を次から選びなさい。 ・外交 中世の我が国とそれぞれの中国王朝との関わりをまとめなさい。 ・産業 産業について、語句を穴埋めしなさい。 中世において、日明貿易がどのように展開したかをまとめてみましよう。

調査項目	発行者名								
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
	うか。 ◇くらげチャートを使って、探究課題に対しての自らの考えを整理して表現できるように工夫されている。(P95) ◇X チャートを使って、探究課題に対して学んだことを整理して、表現できるように工夫されている。(P96)	を考えることができるよう工夫している。	考 察 し よ う。 (P104)	を考えながら、対応策を練ってみよう。 ・あなたはある国の守護です。守護は幕府から任命される存在です。これから先も守護に任命され続けたいあなたは、どのようにふるまうでしょうか。幕府から期待されていたことをふまえて、何をすべきか考えてみよう。 ・あなたは貴族(公家)で、都からはなれた国に荘園を持つ荘園領主です。本来おさめられるはずの年貢が、なかなか届きません。それはなぜでしょうか。どのようにすれば解決できるでしょうか。対応策を考えてみよう。(P100～101)				うか。前の時代と比べながら、自分の考えを文章にまとめましょう。(P85)	
近世の日本	まとめの活動 (P140) ◇探究課題「近世の日本では、社会にどのような変化が見られたのでしょうか」に対して節ごとの探究のステップ課題が設定されている。 ◇探究のステップ ①ヨーロッパ人との出会いを経て、なぜ戦乱の終わりをむかえ	◇各見開きの「表現！」で、学習内容と関連した事項を「説明しよう」という課 題を提示し、時代の特色を自分の言葉で表現するようにしている。 ◇章の問い「近世の日本は、どのような政治のしくみをつくったのだろうか」に対して、「学	◇各見開きの「説明しよう」 で、学習内容と関連した事項を自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇節の問いを振り返り、説明する課題を提示している。(P156) ◇「学習を振り返ろう」 ・章の問い「全国を統一する政権の	◇章のまとめ ・検地と刀狩によって、兵農分離がどのように進められたかをまとめてみよう。 ・豊臣秀吉・将軍と大名はどのような関係にあったか。 ・村の百姓と秀吉・将軍・大名とはどのような関係にあったか。	◇各見開きの「確認」「表現」で、学習内容と関連した事項を、自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇編ごとの問い「戦乱のない安定した時代は、どのように続いたのでしょうか。」を確認して、「まとめと振り返り」「近世」の特色をつかもう！で	◇時代の特徴を考えるページ (P147) 「近世とはどのような時代だったのだろうか」 ・人物比較の問題 ・歴史用語を 3 つの文で紹介する「歴史用語ミニ辞典」 ・章の学習で学んだ重要な言葉 (キーワード) を 1 つあげ、作	◇学習のまとめ「近世の時代をふり返って考えてみよう。」 ・資料を見ながら近世の日本の変化について考えましょう。 ・この学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったといえるのかを考え、その理由と合わ	◇第4章をふりかえる ・次の人が統一事業で行った政策から、それぞれ印象に残ったものを一つ上げて、政治や人々の暮らしにどのような影響をおよぼしたか、説明しましょう。グループやクラスで発表しまし	◇近 世 の ま と め (P268) ・政治 江戸幕府の改革の流れを正しい順に並び替えなさい。 ・文化 元禄文化・化政文化に当てはまる文化を正しく分類しなさい。 ・外交 江戸幕府の外交

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
		たのでしょうか。 ②なぜ江戸幕府の支配は約 260 年も続いたのでしょうか。 ③産業や文化が発達し、年が繁栄する中で、なぜ幕府は改革をせまられたのでしょうか。 ◇フィッシュボーン図を使って、探究課題に対しての自らの考えを整理して表現できるように工夫している。(P142)	習のまとめと表現」でステップに応じて考えを整理し表現できるよう工夫されている。(P140～P142) ◇各章の問いについて考えるときに JUMP！で「歴史的な見方・考え方」を使って時代の特色を考えることができるよう工夫している。	誕生によって、社会はどのように変化したのだろうか」に対して学習の振り返り ・話し合いを通して自分の考えを深めよう。 ・この時代の特色を理由とともに考察しよう。(P160)	・村は百姓によってどのように運営されたか。 ・村の運営は幕府や藩の支配とどのような関係にあったか。 ・江戸時代には庶民も旅行に出かけられるようになった。その理由をいくつかの視点から説明してみよう。(P152～P153)	学習を振り返ることができるよう活動が設定されている。 ・いつ、どこで、何があった？ ・どんな時代？ ・学習を振り返ろう (P152)	文をつくる「ひとこと」作文 ・時代比較の問題 ・意見交換会	せてノートに書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみましょう。(P144)	よう。(P104) ◇第5章をふりかえる ・幕府の改革はうまく進んだでしょうか。気づいたことを書いてみましょう。 ◇第3部近世(4章・5章)のまとめ ・第3部の時代は、国内では「幕府と藩が全国を治める」、国外とは「4つの口を設けて交渉・交易する」という政策・方針でした。前の時代とくらべて、大きなちがいがいたと思う点を上げて、ちがいを説明しましょう。 ・(歴史上の人物へのインタビューの発表を聞いて)近世・江戸時代はどんな時代だったか考えましょう。前の時代とくらべたりしながら、まとめましょう。(P134～P135)	についてまとめなさい。 ・産業 江戸時代に整備された交通について空欄を埋めなさい。 ◇織田信長について、300 字以内でまとめましょう。
近代の日本と世界	・前半 ま と め の 活 動 (P198) ◇探究課題「近代化によって、日本の国家や社会はどのように変化したのでしょうか」に対して節ごとの探究のステップ課題が設定されている。	◇各見開きの「表現！」で、学習内容と関連した事項を「説明しよう」という課題を提示し、時代の特色を自分の言葉で表現するようにしている。 ・前半 ◇章の問い「近代の	◇各見開きの「説明しよう」で、学習内容と関連した事項を自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇節の問いを振り返り、説明する課題を提示している。(P224、P272) ・前半	◇章のまとめ ・イギリス・アメリカ・フランスは市民革命によって、政治社会がどのように変化しただろう。【身分市民】の語句を用いてまとめてみよう。 ・イギリス・アメリ	・前半 ◇各見開きの「確認」「表現」で、学習内容と関連した事項を、自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇編ごとの問い「大日本帝国の成立に象徴される近代化の特色は、どのよ	・前半 ◇時代の特徴を考えるページ (P209) 「近代前半とはどのような時代だったのだろうか」 ・人物比較の問題 ・歴史用語を 3 つの文で紹介する「歴史用語ミニ辞典」	・前半 ◇学習のまとめ「近代①の時代をふり返って考えてみよう。」 ・資料を見ながら近代①の日本の変化について考えましょう。 ・この学習のまとめの作業を手がか	◇第6章をふりかえる ・欧米では、18世紀から19世紀に、政治や社会がどのように変化しましたか。(P158) ◇第4部近代(6章・7章)学習のまとめ ・時代の変化につ	◇近代のまとめ (P410) ・政治 次の政策はどの時代に行われたものか選びなさい。 ・文化 学問・文学・美術の分野に当てはまる人物を選びなさい。	

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
		◇探究のステップ ①なぜ欧米諸国は世界に先がけて発展したのでしょうか。 ②欧米とアジアとの関係が変化する中、なぜ江戸幕府は滅んだのでしょうか。 ③なぜ日本ではほかのアジア諸国に先がけて、近代化が進んだのでしょうか。 ④近代化を進める中で、なぜ日本は中国やロシアと戦争することになったのでしょうか。 ◇コンセプトマップを使って、探究課題に対しての自らの考えを整理して表現できるように工夫されている。(P200) ・後半 ま と め の 活 動 (P240) ◇探究課題「日本はどのようにして戦争に突入していったのでしょうか。」に対して節ごとの探究のステップ課題が設定されている。 ◇探究のステップ ①第一次世界大戦はなぜ起こり、世界と日本にどんな影響をあたえたのでしょうか。 ②なぜ日本で民主	日本では、政治・社会・文化はどのように変化したのだろうか」に対して、「学習のまとめと表現」でステップに応じて考えを整理し表現できるよう工夫されている。(P202～P204) ・後半 ◇章の問い「人々はどうのように世界規模の戦争と関わっていたのだろうか」に対して、「学習のまとめと表現」でステップに応じて考えを整理し表現できるよう工夫されている。(P248～P250) ◇各章の問いについて考えるときにJUMP!で「歴史的な見方・考え方」を使って時代の特色を考えることができるよう工夫されている。	◇「学習を振り返ろう」 ・章の問い「近代国家の建設を目指すことによって、社会はどのように変化したのだろうか」に対して学習の振り返り ・話し合いを通して自分の考えを深めよう。 ・この時代の特色を理由とともに考察しよう。(P226) ・後半 ◇「学習を振り返ろう」 ・章の問い「二度の世界大戦を経験することによって、社会はどのように変化したのだろうか」に対して学習の振り返り ・話し合いを通して自分の考えを深めよう。 ・この時代の特色を理由とともに考察しよう。(P274)	カ・フランスで市民革命がどのように達成されたかをまとめてみよう。 ・日本が開国することになった背景と、その経過をまとめてみよう。 ・明治政府が教育・軍事・税制の点で、どのような改革をしたかを江戸時代と比較してまとめてみよう。 ・江戸時代の生活と明治時代の生活を比較してみよう。 ・産業革命で、経済・社会がどのように変化したかを以下の語句を用いてまとめてみよう。【工業資本主義】 ・産業革命の結果、どのような問題点が生じたかを具体的に説明してみよう。(P210～P211) ・第一次世界大戦と第二次世界大戦について、比較が可能な論点を自ら考えて、表に追加してみよう。 ・国際連盟が第二次世界大戦を抑止できなかったこともあり、国際連合にはその反省から新た	うな点にあらわれているでしょうか。」を確認して、「まとめと振り返り」「近代（前半）まで」の特色をつかもう！で学習を振り返ることができるよう活動が設定されている。 ・いつ、どこで、何があった？ ・どんな時代？ ・学習を振り返ろう (P212) ・後半 ◇各見開きの「確認」「表現」で、学習内容と関連した事項を、自分の言葉で説明する課題を提示している。 ◇編ごとの問い「日本はなぜ二度の世界大戦に参戦し、その結果どうなったのでしょうか。」を確認して、「まとめと振り返り」「近代（後半）まで」の特色をつかもう！で学習を振り返ることができるよう活動が設定されている。 ・いつ、どこで、何があった？ ・どんな時代？ ・学習を振り返ろう (P256)	・章の学習で学んだ重要な言葉（キーワード）を1つあげ、作文をつくる「ひとこと」作文 ・時代比較の問題 ・意見交換会 ・後半 ◇時代の特徴を考えるページ (P253) 「近代後半とはどのような時代だったのだろうか」 ・人物比較の問題 ・歴史用語を3つの文で紹介する「歴史用語ミニ辞典」 ・章の学習で学んだ重要な言葉（キーワード）を1つあげ、作文をつくる「ひとこと」作文 ・時代比較の問題 ・意見交換会	りにして、この時代はどのような時代だったといえるのかを考え、その理由と合わせてノートに書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみましょう。(P202) ・後半 ◇学習のまとめ「近代②の時代をふり返って考えてみよう。」 ・資料を見ながら近代②の日本の変化について考えましょう。 ・この学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったといえるのかを考え、その理由と合わせてノートに書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみましょう。(P242)	いて考え、発表しましょう。 ・第4部・近代はどのような特色を持った時代だったでしょうか。前の時代とくらべながら、自分の考えを書きましょう。(P181) ◇第5部二つの世界大戦 (8章・9章) 学習のまとめ ・第5部 (8章・9章) をふりかえって印象に残ったことを4コマ漫画で表現してみましょう。(P245)	・外交 日清戦争・日露戦争・第一次世界大戦における条約を記しなさい。また関連する語句を選びなさい。 ・産業 明治時代の産業の説明文について、語句を埋めなさい。 ◇近代において、我が国とアメリカの国際関係がどのような変遷をたどったか、300字でまとめましょう。

調査項目	発行者名								
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
	主義を求める風潮が高まったのでしょうか。 ③経済情勢が変化 する中、日本は どのようにして 日中戦争に突入 したのでしょうか。 ④第二次世界大戦 はなぜ起こり、 世界と日本にど のような影響を あたえたのでし ょうか。 ◇くま手チャートを使 って、探究課題 に対しての自らの 考えを整理して表 現できるように工 夫されている。 (P242)			な仕組みが取り 入れられた。二 つの国際協調機 構を比較してみ よう。さらに、比 較が可能な論点 を自ら考えて、 表に追加してみ よう。 ・国際連盟の加盟 国はヨーロッパ の国々が多く、 アジアやアフリ カの加盟国は 少ない。この理 由は何だろう か。 ・第一次世界大戦 後社会的に弱い 立場に置かれて いた人々が、現 状の改善や新し い権利を求め た。例に従って まとめてみよ う。 (P252～253)					
現代の日本と 世界	まとめの活動 (P270) ◇探究課題「戦後の 日本は、どのよ うなことをきっか けに成長してきた のでしょうか。」に 対して節ごとの探 究のステップ課題 が設定されている。 ◇探究のステップ ①戦後の諸改革 は、日本の政治 や社会にどのよ うな影響をあた えたのでしょうか。 ②冷戦の中で、な ぜ日本は経済成 長を遂げることが できたのでし	◇各見開きの「表 現！」で、学習内 容と関連した事項 を「説明しよう」と いう課題を提示 し、時代の特色を 自分の言葉で表現 するようにしてい る。 ◇章の問い「人々 はどのように世界 規模の戦争と関わ っていたのだろう」 に対して、「学習の まとめと表現」で ステップに応じて 考えを整理し表現 できるよう工夫さ れている。(P248～ P250)	◇各見開きの「説 明しよう」で、学 習内容と関連した 事項を自分の言葉 で説明する課題を 提示している。 ◇節の問いを振り 返し、説明する課 題を提示している。 (P302) ◇「学習を振り返 ろう」 ・章の問い「戦後 の日本社会はど のように変化し 、現在へつなが ってきたのだら うか」に対し て学習の振り返 り	◇章のまとめ ・平和で誰もが 暮らしやすい社 会(世界)をつ くっていくた めに、今までの 歴史学習を通 して、解決す べき問題点と してあなた は何を取り 上げますか。 またその具 体的な解決策 について、自 分なりに考 えてみよう。 (P283)	◇各見開きの「確 認」 「表現」で、学 習内容と関連 した事項を、 自分の言葉で 説明する課題 を提示してい る。 ◇編ごとの問い 「戦後の日本 は、平和で民 主的な社会、 豊かな暮らし をどのように して追求して きたのでしょ うか。」を確 認して、「まと めと振り返 り」「現代ま で」の特色を つかもう！で 学習を振り 返ることが できるよう 活動が設 定されてい る。	◇時代の特徴を考 えるページ (P286) 「現代とはどの ような時代だ ったのだら うか」 ・人物比較の 問題 ・歴史用語を 3つの文で紹 介する「歴史 用語ミニ辞 典」 ・章の学習で 学んだ重要な 言葉(キーワ ード)を1つあ げ、作文をつ くる「ひとこ と」作文 ・時代比較の 問題 ・意見交換会	◇学習のまとめ 「現代の時代を ふり返って考 えてみよう。」 ・資料を見な がら現代の 日本の変化に ついて考えま しょう。 ・この学習の まとめの作 業を手がかり にして、この 時代はどのよ うな時代だ ったといえる のかを考え、 その理由と合 わせてノート に書いてみま しょう。また 、それぞれの 考えをみんな で話し合っ てみよう。(P278)	◇第6部現代(10 章をふりかえ る)学習のま とめ ・学習をふり かえり、時代 の変化を絵に 表してみま しょう。 ・第6部の学 習をふりかえ り、国際社会 での課題とな っていること をあげ、日本 ができること を考えて文章 にまとめま しょう。グル ープやクラス で話し合いま しょう。(P280)	◇現代のまとめ (P459) ・政治 GHQの占領政 策について各 面で行われた 改革をまとめ なさい。 ・文化 現代の我が国 にはどのような 文化があるか 、考えてみま しょう。 ・外交 各国との条約 を年代の古い 順から並び替 えなさい。ま た、現在でも ソ連と平和条 約が締結され

調査項目		発行者名								
		2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
		ようか。 ③より良い社会を創るために、これからどのようなことが必要とされるのでしょうか。 ◇ピラミッドランキングを使って、探究課題に対しての自らの考えを整理して表現できるように工夫している。(P272)	◇各章の問いについて考えるときにJUMP!で「歴史的な見方・考え方」を使って時代の特色を考えることができるよう工夫されている。	・話し合いを通して自分の考えを深めよう。 ・この時代の特色を理由とともに考察しよう。(P304)		・いつ、どこで、何があった？ ・どんな時代？ ・学習を振り返ろう (P290)				いない理由を述べなさい。 ・産業高度経済成長の説明文について、語句を埋めなさい。 ◇吉田茂について、300 字以内でまとめましょう。
新聞を活用している事項の数とその内容		新聞記事：8 箇所 ◇五・一五事件を伝える新聞 (P202・P227) ◇米騒動を伝える新聞 (P213) ◇張作霖の殺害を報じる新聞 (P225) ◇日本の国際連盟脱退を報じる新聞 (P226) ◇盧溝橋事件を報じる新聞 (P228) ◇真珠湾攻撃を伝えるハワイの新聞 (P232) ◇ミッドウェー海戦を伝える新聞 (P233) ◇世界金融危機を報じる新聞 (P263)	新聞記事：11 箇所 ◇新潟日報の記事 (P16) ◇日英同盟の風刺画 (P189) ◇米騒動を伝える新聞 (P219) ◇張作霖の列車の爆破事件を伝える新聞 (P229) ◇五・一五事件を伝える新聞 (P231) ◇二・二六事件を報じる新聞 (P232) ◇国際連盟総会での韓国の可決を伝える新聞 (P233) ◇二・二六事件を伝える新聞 (P234) ◇日米の開戦を伝える新聞 (P240) ◇ミッドウェー海戦を伝える新聞 (P242) ◇日独伊三国同盟を伝える新聞 (P291)	新聞記事：6 箇所 ◇米騒動を伝える地元の新聞 (P238) ◇義援金を募る新聞広告 (P222) ◇国際連盟脱退を伝える新聞 (P256) ◇五・一五事件を伝える新聞 (P257) ◇日独伊三国同盟調印を伝える新聞 (P262) ◇ミッドウェー海戦を伝える新聞 (P269)	新聞記事：5 箇所 ◇米騒動を伝える新聞 (P212) ◇太平洋戦争開戦を伝える新聞 (P213) ◇米騒動を伝える新聞 (P224) ◇五・一五事件を伝える新聞 (P239) ◇太平洋戦争開戦時の新聞 (P245)	歴史新聞：1 箇所 ◇地域調べをまとめる方法の一つとして、歴史新聞づくりを紹介している。 新聞記事：4 箇所 ◇国際連盟脱退を伝える新聞 (P240) ◇五・一五事件を伝える新聞 (P241) ◇日米海戦を伝える新聞記事 (P246) ◇ミッドウェー海戦を伝える新聞 (P252)	新聞記事：10 箇所 ◇福沢諭吉が創刊した時事新報 (P187) ◇五・四運動の暴動を報じる新聞 (P217) ◇東北大飢饉を報じる新聞 (P224) ◇日本で発覚したゾルゲ事件を報じる新聞 (P227) ◇五・一五事件を報じる新聞 (P230) ◇日本の国際連盟脱退を報じる新聞 (P231) ◇二・二六事件を報じる新聞 (P231) ◇警察予備隊新設を報じる新聞 (P261) ◇湯川秀樹ノーベル賞受賞を報じる新聞 (P272) ◇東日本大震災 (P282)	歴史新聞：1 箇所 ◇歴史学習のまとめ①として、歴史新聞の作り方を紹介している。 新聞記事：7 箇所 ◇日清戦争のようすを伝える新聞 (P188) ◇犬養首相暗殺を伝える新聞 (P228) ◇日本の国際連盟脱退を報じる新聞 (P229) ◇日独伊三国同盟調印を伝える新聞 (P233) ◇開戦の新聞記事 (P234) ◇台湾沖航空戦を伝える日本の新聞 (P236) ◇日本の国連加盟を伝える新聞 (P254)	新聞記事：8箇所 ◇歴史人物調べの一例として、山本宣治の刺殺を伝える新聞 (P210) ◇昭和恐慌の時に徒歩で郷里へ帰る人々がいたことを伝える新聞 (P217) ◇国際連盟総会からの退場を伝える新聞 (P221) ◇五・一五事件を伝える新聞 (P222) ◇サイパン島の玉砕を伝える新聞 (P234) ◇第五福竜丸の被ばくを伝える新聞 (P258) ◇中国残留日本人孤児の調査を伝える新聞 (P270) ◇日本人孤児が母親と再会したことを伝える新聞 (P270)	◇新聞にまとめてみよう (近世) (P262)

調査項目	発行者名								
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
教科書の使い方（学習の進め方）に関する記載	◇章と本文ページの構成や学び方を示し、マークやコラムの意味を説明している。 (P6～P7)	◇章の構成や本文ページの見方・使い方を示し、マークやコラムの意味を説明している。(P2～P4)	◇学習の流れや導入・本文ページの学習の仕方を示し、マークやコラムの意味を説明している。 (巻頭 P4～P9)	◇マークの意味を説明している。(P4)	◇学習の流れや基本構成、使い方を示し、マークやコラムの意味を説明している。 (P2～P5)	◇マークやロゴの意味を説明している。(P6)	◇学習の流れや特集ページについての説明をしている。 (P5～P7)	◇全体と本文ページの構成を示している。(巻頭 P2)	◇教科書の使い方を説明している。 (P5)
自主学習、自由研究用に設定されている課題の内容	◇「歴史への扉」 (P8～P19) 年表へのまとめ方や地域の調べ方・まとめ方・発表の仕方を提示している。	◇「歴史のとらえ方・調べ方」 (P2～18) 人物のまとめ方や地域の調べ方・まとめ方・発表の仕方を提示している。	◇「歴史のとらえ方と調べ方」 (P2～P13) 歴史の調べ方・まとめ方・発表の仕方を提示している。	◇「身近な地域を調べよう」 (P8～P13) 地域の調べ方・まとめ方・発表の仕方を提示している。	◇「私たちと歴史」 (P6～P17) 人物の調べ方・まとめ方を提示している。	◇「地域の歴史を調べる」「人物を通して時代をとらえる」 (P12～P18) カードへのまとめ方、地域の調べ方・まとめ方・発表の仕方を提示している。	◇「序章」 (P10～23) カードや年表へのまとめ方、地域の調べ方・まとめ方・発表の仕方を提示している。	◇「歴史への案内」 (P4～P9) カードや年表へのまとめ方を提示している。	◇「国史を学ぶにあたって」 (P11～P15) 調べ方、まとめ方、発表の仕方、振り返り方を提示している。
	◇「スキル・アップ」 資料の集め方・読み取り方・整理の仕方・発表の仕方を提示している。 (21 項目)	◇「歴史の技」 資料の読み取り方・整理の仕方を提示している。(全 8 項目)	◇「技能をみがく」 資料の集め方・読み取り方・整理の仕方・発表の仕方を提示している。 (全 14 項目)	◇「歴史を考えよう」 資料の読み方、活用方法を提示している。 (全 7 項目)	◇「スキル UP」 資料の見方・まとめ方を提示している。(15 項目)	◇「調べ学習のページ」 各章末のページにあり、資料の読み取り方・整理の仕方を提示している。(全 6 項目)	◇「歴史新聞をつくらう」 (P280～P281) 歴史新聞の作り方を提示している。	◇「歴史を体験する」 調べ方やまとめ方を提示している。 (全 6 項目)	
	◇「まとめの活動」 思考ツールを用いたまとめ方を提示している。 (全 5 項目)				◇「でかけよう！地域調べ」 地域の調べ方・まとめ方を提示している。 (全 6 項目)				
資料の収集・活用・整理の仕方など調べ学習の方法についての記載	◇「歴史へのとびら」 (P8～P19) 年表へのまとめ方や地域の調べ方・まとめ方・発表の仕方を提示している。	◇「歴史のとらえ方・調べ方」 (P2～18) ◇「歴史の技」 地域の調べ方、まとめ方、発表の仕方	◇「歴史のとらえ方と調べ方」 (P2～P13) ◇「技能をみがく」歴史の調べ方、まとめ方、発表の仕方 (全 14 項目)	◇「身近な地域を調べよう」 (P8～P13) ◇「地域からのアプローチ」 地域の調べ方、まとめ方、発表の仕	◇「私たちと歴史」 (P6～P17) ◇人物の調べ方とまとめ方 「スキル UP」1 (全 5 項目) ◇資料の見方、まと	◇「地域の歴史を調べる」(P12～15) 地域の調べ方・まとめ方・発表の仕方 ◇「人物を通して時代をとらえる」	◇「序章」 (P10～23) ◇カードや年表へのまとめ方 ◇「歴史新聞をつくらう」 (P280～P281)	◇「歴史への案内」 (P4～P9) ◇「歴史を体験する」 カードや年表へのまとめ方 (全 6 項目) ◇調べ方やまとめ方	◇「国史を学ぶにあたって」 (P11～P15) 調べ方、まとめ方、発表の仕方、振り返り

調査項目	発行者名								
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
	◇「スキル・アップ」 資料の集め方・読み取り方・整理の仕方・発表の仕方を提示している。 （全21項目） ◇「まとめの活動」 思考ツールを用いたまとめ方を提示している。 （全5項目）	（全8項目） ◇「身近な地域の歴史を調べよう」 資料の読み取り方、整理の仕方 （全6項目）	◇資料の集め方、読み取り方、整理の仕方、発表の仕方	方 （全7項目） ◇「歴史を考えよう」 地域の歴史の調べ方 （全7項目） ◇資料の読み方、活用方法	め方 ◇「でかけよう！地域調べ」 施設の見学の仕方 （全6項目） ◇地域の調べ方	（P16～P18） カードへのまとめ方 ◇「調べ学習のページ」 資料の読み取り方・整理の仕方 （全6項目）	地域の調べ方、まとめ方、発表の仕方 ◇歴史新聞の作り方		
体験的な学習活動の例、書き込み等作業的な内容	◇「確かめよう・ふり返ろう・深めよう」 各章末で年表、地図、文章での書き込みなど作業的なまとめを示している。	◇「歴史の流れをとらえよう」 （P2～P7） 歴史すごろく、人物カード作りなどの作業を取り入れている。 ◇「学習のまとめと表現」 各章末で年表、地図、表、文章でのまとめを提示している。	◇「年代の表し方と時代区分」 （P4～P7） 年代の表し方の作業を取り入れている。 ◇「タイムトラベル」 各時代の導入でイラストから読み取る作業を取り入れている。 ◇「章の学習を振り返ろう」	◇「歴史を大きく変えた人物」（P7） 人物についてまとめる作業を提示している。 ◇「まとめ」各章末で地図、表、文章でのまとめを提示している。	◇人物についてまとめる作業を提示している。 ◇「学習の整理と活用」 各時代の終わりに、年表、地図、文章などでのまとめを提示している。 ◇「チャレンジ歴史」 資料に基にした作業、話し合いや文章でのまとめを提示している。 （全5項目）	◇「復習問題のページ」 各章末で地図、文章での書き込みなど作業的なまとめを示している。	◇「歴史探検！歴史の流れと先人の活躍」（P14～P17） 年表やカードを使った作業を提示している。 ◇「学習のまとめ」 各章末で年表、地図、表、文章でのまとめを提示している。 （全6項目） ◇「歴史ズームイン」 資料に基づいた話し合い活動を提示している。 ◇「学習のまとめ」 資料を基にした表や文章へのまとめを提示している。	◇「歴史への案内」（P4～P9） 年表や年代の表し方の作業を取り入れている。 ◇「部の学習のまとめ」 各部末で、話し合いや文章でのまとめを提示している。 ◇「章をふりかえる」 第1章から第10章の各章末で年表や地図、文章などでのまとめを提示している。 ◇「歴史を体験する」 ・火おこし（P34～P35） ・糸をつむぐ（P158～P159）	◇「まとめ学習」 第1章から第6章の各章末で年表や地図、文章などでのまとめを提示している。
「生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことを促す」工夫として掲載されている教材の数と内容	本文ページに「スキル・アップ」という学習内容を、主体的・対話的な学びにつなげる、基礎的・基本的な技能を身に付ける内容を記載。 ◇屏風絵から読み取	本文ページに「歴史の窓」という学習から興味や関心を広げていくコラムを掲載。 ◇奥州藤原氏と平泉（P63） ◇宋と高麗（P65）	本文ページに「アクティブ歴史」という、具体的な主題を設定し、「主体的対話的で深い学び」を実践する5テーマを掲載。	本文に「ステップアップ」という、より主体的に深めてほしい課題を掲載。	『「歴史との対話」を未来に活かす』という、よりよい未来をつくるために何が大切かを考える現代の課題を掲載。（全3項目）	「調べ学習のページ」 各章末のページにあり、資料の読み取り方・整理の仕方を提示している。 （全6項目）	「歴史ビュー」というコラムを掲載。 歴史にかかわる出来事の意味や、伝統と文化の特色について、多角的な視点から解説している。（全15項目）	「歴史を体験する」 調べ方やまとめ方を提示している。 （全6項目）	

調査項目	発行者名								
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
	ろう（巻頭3） ◇絵巻物から読み取ろう」（P1） など （全21 項目）	◇ナポレオンの支配」（p149） など （全19 項目）							

別表5

調査項目	発行者名								
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
「発展的な内容を取り扱う」トピックスなどの記載の数と内容	本文ページに「もっと知りたい！」という学習内容を、より深めたり、より広げたり、異なる視点で捉えたりしたコラムを掲載。 ◇蝦夷の抵（P53） ◇藤原道長の直筆日記（P55） など （全32 項目）	特設ページ「歴史を探ろう」で本文ページには登場しない人物の視点や、あとの時代への影響やつながりなどの視点から、生徒が捉え直すことができるページを設定。 ◇神話にみる古代の人々の信仰（P14） ◇働く女性や子どもたち」（P88） など （全11 項目）	本文ページに「歴史プラス」という、歴史的分野の発展的な事例を紹介する欄を設けている。 ◇東アジアの美、磁器（P87） ◇子ども向けの文化・商品の誕生（P243） など （全37 項目）	特設ページ「歴史へのアプローチ」で、時代を大きく捉えたり他地域とのつながりを捉えたりするテーマを掲載している。 ◇琉球の歴史と文化（P88～89） ◇都市の暮らしと名所（P144～145） など （全10 項目）	特設ページ「チャレンジ歴史」で、資料を基に問いを立て、資料を読み取ったり考察を深めたりする学習活動を促している。 ◇考古学に挑戦！よろいを着た人物のなぞを解こう（P38～39） ◇承久の乱を通して、古代から中世への変化を考えよう（P74～P75） など （全5 項目）	特設ページ「もっと知りたいコラム」で、時代ごとに関連する人物や場所、詳しい事象を取り上げている。 ◇岩宿遺跡を発見した相澤忠洋（P24） ◇秀吉はなぜバテレン追放令を出したのだろうか（P117） など （全33 項目）	特設ページ「歴史ズームイン」というコラムで、学習内容についてのより深い解説や、別の視点からの見方を示すための資料や情報を掲載している。 ◇日露戦争の舞台裏」（P196～197） ◇感染症の歴史」（P276～277） など （全18 項目）	章末ページに「歴史を体験する」という、歴史に関する実験やフィールドワーク、などの方法や手順について記したコラムを掲載している。 ◇地域の博物館で調べる（P132～133） ◇対話・討論にチャレンジ（P178～179） など （全7 項目）	特設ページ「世界各国王朝略年表」により、時代ごとに各国の動向が比較できるようにになっている。 特設ページ「歴代天皇の皇位継承図」を掲載し、現代までの歴史的なつながりを取り上げている。
	本文ページに「未来にアクセス」という、現代社会においても継続的な課題である社会的事象を取り上げるコラムを掲載。 ◇女性の政治参加を求めて」（P209） ◇在日韓国・朝鮮人（P247） など （全5 項目）	「歴史学習の終わりに」（P287～289）で身近な話題など現代社会の課題につなげるページを設定。	特設ページ「歴史を探ろう」を設け、歴史的事象をさまざまな視点で捉える内容が掲載されている。 ◇発展する産業都市大阪・神戸」（P246～247） など （全11 項目） 「未来に向けて」ではSDGs と歴史との関連などのテーマを取り扱っている。 ◇よりよい社会を目指して」（巻頭）など	特設ページ「歴史を考えよう」では、美術作品や史料・地図、憲法や選挙などのテーマを取り上げている。 ◇江戸図屏風を読み解く（P134～135） ◇第1 回普通選挙の実態を探る」（P228～229） など （全7 項目）	特設ページ「歴史を掘り下げる」では、テーマごとに学習内容をより詳しく解説している。 ◇日本の神話（P51） ◇文化財を守り伝える仕事（P58） など （全7 項目） SDGs と関連の深い項目にはマークを付け、意識付けがされている。	本文ページ「もっと知りたいコラム」で、時代ごとに関連する人物や場所、詳しい事象を取り上げている。 ◇江戸時代の身分制度（P121） など （全15 項目）	本文ページ内の「歴史ビュー」というコラムで、本文の内容に関連する知識の習得を図る情報を掲載している。 ◇厩戸皇子と聖徳太子（P47） ◇江戸時代の身分制度（P121） など （全15 項目）	本文ページ内の「歴史ズームイン」というコラムで、学習内容についてのより深い解説や、別の視点からの見方を示すための資料や情報を掲載している。 ◇日露戦争の舞台裏」（P196～197） ◇感染症の歴史」（P276～277） など （全18 項目）	本文ページ内にあるコラムで、歴史的事象の詳細や関連する事象などを取り上げている。 ◇『古事記』の国譲り神話（P39） ◇日本を小国から大国に押し上げた明治天皇（P335） など （全42 項目）

調査項目	発行者名								
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
			特設2項目 ◇自然災害と神話 (P49) ◇グローバルな東西交流の光と影 (P80) などコラム (全63項目)				(P59) ◇北条政子 一頼朝と幕府を支えた尼将軍 (P73) など (全17項目)		
「京都府」の歴史的事象に関する発展的な内容	「もっと知りたい!」 ◇「解放令」から水平社へ (P218～219)		「未来に向けて」 ◇祇園祭の始まり (P58)	「歴史を考えよう」 ◇平安京と京都の街を考える (P56～57)		「調べ学習のページ」 ◇修学旅行で行く奈良と京都 (P64～65) 「もっと知りたいコラム」 ◇吉野と京都 2つの朝廷 (P98)		「歴史を体験する」 ◇インターネットで『洛中洛外図屏風』を見る (P104～105)	

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項
別表6

調査項目	発行者名								
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
地理的分野と特に関連づけた記載のある内容	ページ内に、地理的分野との関連を示す項目にはリンクマークを付けて、意識がしやすいようになっている。 ◇宗教のおこり (P33) ◇ヨーロッパ連合 (EU) の共通通貨「ユーロ」 (P260) など (全 17 項目)	特設ページに地理的分野との関連を示す「関連マーク」があり、関連が意識できるようになっている。 ◇大名行列と藩の財政 (P116～117) ◇沖縄の歴史を調べよう (P176～177) など (全 9 項目)	本文ページの脚注欄に地理的分野の関連用語を提示。資料に「地」アイコンを付けて関連が確認できるようになっている。 本文ページ内に地図帳を活用した内容を掲載。「地図帳活用」アイコンで関連が確認できるようになっている。 ◇世界各地の文明と栽培植物の伝わった方向 (P18) など (全 28 項目)	◇歴史へのアプローチ⑩ 日本の領土の変遷 (P268)	本文ページ脚注の連携コーナーで、地理的分野に関連する事項を確認、活用できるようになっている。 ◇世界の気候区分 (P25) ◇四日市市や八日市市」 (P77) など (全 4 項目)	適宜必要となる地図などを配置。	適宜必要となる地図などを配置。	「学習のまとめ」ページで地図を活用することで、地理的な視点で捉えられるようになっている。	巻末資料に地図を多く掲載。各時代の世界の勢力構成を示している。
公民的分野と特に関連づけた記載のある内容	ページ内に、公民的分野との関連を示す項目にはリンクマークを付けて、意識がしやすいようになっている。 ◇新しい思想で革命を支える (P146) ◇有権者数の増加 (P215) など (全 35 項目)	特設ページに公民的分野との関連を示す「関連マーク」があり、関連が意識できるようになっている。 ◇神話にみる古代の人々の信仰 (P52～53) ◇改革や平和を求めて (P164～165) など (全 11 項目)	本文ページの脚注欄に公民的分野の関連用語を提示。資料に「公」アイコンを付けて関連が確認できるようになっている。	◇古代ギリシアの民主政治は、現代の民主政治とどこが異なるのか、対比して整理してみよう (P21) ◇今と昔で選挙の様子はどのように変化しているだろうか (P189)	本文ページ脚注の連携コーナーで、公民的分野に関連する事項を確認、活用できるようになっている。 ◇議会制民主主義 (P161) ◇自由貿易と関税 (P171) など (全 3 項目)	無	「学習のまとめ」ページでは、現代の課題に結び付けて考えるように配置されている。	第 10 章「現代の日本と世界」で歴史と今日の課題を結び付けたテーマを設定。 ◇ゴジラの怒り、サダコの願いー原水禁運動ー (P258～259) ◇感染症に立ち向かうーこの世界でもに生きていくー (P276～277) など (全 15 項目)	無
道徳と関連のある内容	◇原水爆禁止運動 (P253)	◇身近な地域を調べよう (P12～18) ◇働く女性や子どもたち (P88～89)	無	◇『戦後の女性と社会』に関する年表 (P259)	無	無	無	無	無
人権教育と関連のある内容、男女共同参画社会の追究に対する配慮	ページ内に、地理的分野との関連を示す項目にはリンクマークを付けて、意識がしやすいようになっている。 ◇汚染一揆 (P137) ◇女性の社会参加を	本文ページや特設ページを通じて、差別や人権確立の歴史、人権をめぐる現状や課題についての考察を行う内容を掲載。 ◇琉球王国とアイヌ	コラム「未来に向けて 人権・多文化」で人権に関する課題の経緯などを紹介。 ◇中世の老人と子ども、女性 (P93) ◇自由は土佐の山間より (P201)	◇『戦後の女性と社会』に関する年表 (P259)	「歴史を掘り下げる」 ◇新しい世の中をめざした人々 (P174～175) ◇水平社の創立とさまざまな人権運動 (P234～235)	無	無	歴史の中の女性に焦点を当てたテーマを掲載。 ◇国会を開こうー自由民権運動 (P170) ◇女性は太陽だったー社会運動の広まりー (P206)	無

調査項目	発行者名								
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
	求めて (P209) など (全 22 項目)	民族 (P80～81) ◇身分による差別 (P125) など (全 47 項目)	など (全 22 項目) コラム「未来に向けて 平和・安全」で人々の平和に向けての取り組みなどを紹介。 ◇芸術に込めた反戦の意志 (P255) ◇ドイツのユダヤ人迫害に抵抗した日本人 (P263) など (全 15 項目)		「各時代の女性」 ◇政治や文化での活躍 (P57) ◇武家の社会と女性たち (P77) ◇商工業を担う女性たち (P93) ◇日本初の女子留学生と女子教育 (P185) ◇家制度と社会運動 (P207) ◇女性の政治参加を求めて (P228) ◇女性の地位向上への改革 (P264)			など (全 26 項目)	

教科・種目名 社会（歴史的分野） 調査研究事項
別表 7

調査項目	発行者名								
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
資料（写真、統計やグラフ）の掲載方法等の配慮事項	◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記載 ◇資料を読み取る視点や資料を基に考える視点を提示 ◇凡例を使用せず、図中に直接記載	◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記載 ◇資料を読み解く（読み取り考える）視点を問いの形で提示	◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記載 ◇資料を読み取るポイントを示した「資料活用アイコン」を提示	◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記載 ◇資料を読み取る視点や資料を基に考える視点を問いの形で提示	◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記載 ◇資料を読み取る視点や資料を基に考える視点を「資料活用アイコン」を付して提示	◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記載 ◇資料を読み取る視点や資料を基に考える視点を男女のキャラクターのセリフをとおして提示	◇資料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す資料番号を記載 ◇資料を読み取る視点や資料を基に考える視点を「資料活用アイコン」を付して提示	◇資料には、簡潔な説明のみ記載 ◇各章の導入部に学習への興味関心を高める資料を多く配置	◇資料には、簡潔な説明のみ記載 ◇本文の資料には必要な情報を簡潔に提示し、巻末に各時代の日本や世界の様子を表す歴史地図をカラーで大きく提示
ユニバーサルデザイン化に向けた工夫 （配色、フォント、レイアウト等）	◇AB 判を採用 ◇カラーユニバーサルデザインに対応 ◇ユニバーサルデザイン・フォントを採用 ◇ゴシック体のふりがなを採用	◇AB 判を採用 ◇カラーユニバーサルデザインに対応 ◇ユニバーサルデザイン・フォントを採用 ◇主要な語句には見開きごとにふりがなを付している。	◇AB 判を採用 ◇カラーユニバーサルデザインに対応 ◇ユニバーサルデザイン・フォントを採用 ◇本文の記述を補足する写真や図版は大判で掲載	◇AB 判を採用 ◇カラーユニバーサルデザインに対応 ◇ユニバーサルデザイン・フォントを採用 ◇固有名詞・歴史用語にはすべて、ふりがなを付している。	◇AB 判を採用 ◇カラーユニバーサルデザインに対応 ◇ユニバーサルデザイン・フォントを採用 ◇ゴシック体の大きめのふりがなを採用	◇AB 判を採用 ◇カラーユニバーサルデザインに対応 ◇ユニバーサルデザイン・フォントを採用 ◇ゴシック体のふりがなを採用	◇AB 判を採用 ◇カラーユニバーサルデザインに対応 ◇ユニバーサルデザイン・フォントを採用 ◇ゴシック体のふりがなを採用	◇A4 判を採用 ◇カラーユニバーサルデザインに対応 ◇資料や注記にはゴシック体を採用、想定される学年に応じた漢字表記や表現 ◇ゴシック体のふりがなを採用	◇A5 判を採用 ◇資料や注記にはゴシック体を採用 ◇ゴシック体のふりがなを採用
史料（法令、文献、絵図、絵、肖像画等）の掲載方法等の配慮事項	◇史料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す史料番号を記載 ◇史料の掲載部分を文字の読み取りに支障のない地色を敷き区別することで紙面の構造を明確化	◇史料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す史料番号を記載 ◇史料を読み解く視点を問いの形で提示 ◇小学校での既習事項は史料に「小学校」と明示して掲載	◇史料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す史料番号を記載 ◇史料を読み取るポイントを示した「資料活用アイコン」を提示 ◇小学校の既習事項、地理・公民との関連事項をマークで明示して掲載	◇史料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す史料番号を記載 ◇史料を読み取る視点や史料を基に考える視点を問いの形で提示 ◇重要な史料にマークを付し、背景色を変えて掲載	◇史料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す史料番号を記載 ◇史料を読み取る視点や史料を基に考えたり学び合ったりする視点を「資料活用アイコン」を付して提示 ◇重要な史料にマークを付し、背景色を変えて掲載	◇史料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す史料番号を記載 ◇史料を読み取る視点や史料を基に考える視点を男女のキャラクターのセリフをとおして提示 ◇歴史上の文書・文献が基になっている史料にマークを付し、背景色を変えて掲載	◇史料ごとに番号を付し、本文中に関連を示す史料番号を記載 ◇史料を読み取る視点や史料を基に考える視点を「資料活用アイコン」を付して提示 ◇重要な史料にマークを付して掲載	◇史料には、簡潔な説明のみ記載されている。 ◇各章の導入部に学習への興味関心を高める史料を多く配置 ◇A 判を生かし、一つ一つの写真や絵図を大きく掲載	◇史料には、簡潔な説明のみ記載されている。 ◇史料には必要な情報のみ簡潔に提示 ◇巻末に各時代の日本が誇る美術、工芸作品をカラーで大きく提示
注記の内容が分かりやすく表現されている	◇注記の掲載部分を文字の読み取りに支障のない地色を敷き区別することで紙面の構造を明確化 ◇関連する事項の記載ページを明示	◇語句の内容により、一般的な注記と「解説」の 2 つに分けて掲載 ◇関連する事項の記載ページを明示	◇語句の内容により、一般的な注記を「解説」、人物の注記を「人物コラム」と 2 つに分けて掲載 ◇関連する事項の記載ページを明示	◇語句の内容により、一般的な注記と「用語解説」「人物コラム」の 3 つに分けて掲載 ◇関連する事項の記載ページを明示	◇語句の内容により、一般的な注記と「基本用語」の 2 つに分けて掲載 ◇関連する事項の記載ページを明示	◇語句の内容により、一般的な注記と本文中の語句を再掲し、用語解説を兼ねている注記の 2 つに分けて掲載 ◇関連する事項の記載	◇語句の内容により、一般的な注記と文字の読み取りに支障のない地色を敷いた人物の注記の 2 つに分けて掲載 ◇関連する事項の記載	◇重要語句や難解な語句にはページの両端に用語解説を掲載し説明	◇本文中に番号を付した語句を説明した一般的な注記と本文の内容を詳細に解説する注記の 2 つに分けて掲載

調査項目	発行者名								
	2 東書	1 7 教出	4 6 帝国	8 1 山川	1 1 6 日文	2 2 5 自由社	2 2 7 育鵬社	2 2 9 学び舎	2 3 6 令書
						載ページを明示	載ページを明示		
索引（歴史上の出来事や重要語句、人物等）の取扱い事項	◇人名・事項に分けて五十音順に掲載し、関連ページを示して記載	◇人名・事項に分けて五十音順に掲載し、関連ページを示して記載 ◇本文中に太字の人名、事項は記載ページを太字で提示	◇人名・事項に分けて五十音順に掲載し、関連ページを示して記載 ◇人名に活躍した分野（政治、文化、国際交流など）のマークを付して提示	◇人名・事項に分けて五十音順に掲載し、関連ページを示して記載	◇人名・事項に分けて五十音順に掲載し、関連ページを示して記載 ◇本文中に太字の人名、事項は記載ページを太字で提示	◇人名・事項に分けて五十音順に掲載し、関連ページを示して記載 ◇人名の右に生年～没年を明示	◇人名・事項に分けて五十音順に掲載し、関連ページを示して記載 ◇本文中に太字の人名、事項は太字で提示	◇人名・事項を合わせて五十音順に掲載し、関連ページを示して記載	◇巻末に「政権担当者・出来事対照表」を時代別に掲載し、歴史の流れを把握できるように工夫している。
用語解説の数と掲載方法等の配慮事項	◇118 項目 ◇巻末に、五十音順に用語解説のコーナーを設け、関連するページを示して解説	◇20 項目 ◇本文の注記として該当ページの両端に「解説」として掲載	◇51 項目 ◇本文の注記として該当ページの両端に「解説」として掲載	◇101 項目 ◇本文の注記として該当ページの両端に「用語解説」として掲載	◇32 項目 ◇本文の注記として該当ページの両端に「基本用語」として掲載	◇12 項目 ◇巻末にコーナーを設け、複数の単元にまたがって使用される歴史用語を五十音順に解説	◇2 項目 ◇用語解説として特設しての掲載は少ないが、注記を充実させ重要用語の解説を兼ねさせている。	◇142 項目 ◇本文の注記として該当ページの両端に重要語句や難解な語句の解説を掲載	◇91 項目 ◇本文の注記として該当ページの上端または下端に重要語句や難解な語句の解説を掲載
綴じ込み歴史年表の有無と配慮事項	◇巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇表裏両面×2面 ◇日本の主な出来事、世界の主な出来事に分けて記載 ◇日本と外国との関係を示す出来事に■印を付けて提示 ◇教科書で学習する章を年表中に明記	◇巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇左右に広げて全時代を見通すことができるようにまとめている。 ◇日本と外国のできごとを上下に分けて示している。	◇巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇表裏両面×2面 ◇日本の歩み、日本と海外の交流、世界の主な出来事に分けて記載 ◇教科書で学習する章と節を年表中に明記	◇章の導入部ごとに年表が示されている。 ◇年表は、日本と世界の出来事が簡潔にまとめられている。	◇巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇表裏両面×2面 ◇日本のあゆみ、外国とのつながり、世界の動きに分けて記載 ◇教科書で学習する編を年表中に明記	◇巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇表裏両面×1面 ◇日本の主なできごとと、世界の主なできごとに分けて記載	◇巻末に広げることができる年表が綴じ込まれている。 ◇表裏両面×1面 ◇日本の主なできごとと、世界の主なできごとに分けて記載し、関連する項目は点線や矢印でつなげて明示	◇巻末に年表がまとめられている。 ◇巻末に 12 ページ ◇日本の社会・政治・経済の動きと日本の文化・宗教、世界の動きに分けて記載 ◇年表中の時間軸が北海道など、本州など、沖縄などの 3 つを明記	◇章のまとめ学習として章末に年表が示されている。 ◇政治、経済・社会・文化、世界に分けて記載 ◇年表中の[]に語句を記入する部分があり、復習に使用できる。
デジタル教科書の有無（指導者用、学習者用）	◇指導者用：有 ◇学習者用：有（翻訳機能を追加）	◇指導者用：有 ◇学習者用：有	◇指導者用：有 ◇学習者用：有	◇指導者用：有 ◇学習者用：有	◇指導者用：有 ◇学習者用：有	◇指導者用：なし ◇学習者用：なし	◇指導者用：有 ◇学習者用：有	◇指導者用：なし ◇学習者用：なし	◇指導者用：なし ◇学習者用：なし
二次元コード等によるデジタル教材の配置	◇382 コンテンツ ◇15 種類の内容 ◇各ページの見開きの導入部ごとに定位置に配置	◇58 コンテンツ ◇リンク、動画、クイズの 3 種類の内容 ◇各章の導入部にリンク、資料やコラムに動画、章末のまとめにクイズを配置	◇391 コンテンツ ◇11 種類の内容 ◇各章導入部、章末のまとめ、各節の導入部など随所に配置	◇35 コンテンツ ◇「くわしく見てみよう」「聴いてみよう」「読んでみよう」など、資料を活用して学習を深めるコンテンツとして配置	◇437 コンテンツ ◇3 コンテンツ 12 種類の内容 ◇各編や節の導入部やまとめに動画や小テストを配置 ◇各編、節の学習履歴を記録するコンテンツとして配置	◇なし	◇各章の導入部(7 か所)に二次元コードを配置 ◇学習内容に関連する動画の閲覧や歴史、文化に関連する諸機関・団体のコンテンツからの情報収集が可能	◇第 4 章のふりかえりと第 8 章のふりかえり学習でインターネットでの調べ学習について記載	◇1 コンテンツ ◇漫画「承久の乱」にリンク